

竹河大・西・保・国・言・麦・阿・穂

14 63 01のちのおほとこのちの大との大のちの大

い殿への上カラ次ノわガ書カレテオリ、大

い殿わたりトスベキカ<sub>三</sub>西のちへの大殿へ

国<sub>二</sub>のちの大殿の言

14 63 01ありけるナシ麦阿

14 63 01わることたちのわかたち大わることたちの西

言ふることたちの国麦阿穂

14 63 02おちとまりをちとまりて国穂

14 63 02のこれるかありけるか西のこりて保

14 63 02とはすかたりとはすかたりに大ともはすか

た<sub>二</sub>以<sub>一</sub>ヲ削ツテとヲ書ク<sub>三</sub>西

14 63 02しをきたるはしおきたる西麦阿しおき

穂  
へたる西しをきたるには保しをきたれば

14 63 02むらさきのむらさきの国

14 63 02ゆかり御ゆかり大

14 63 03にさめれとにさめれとも西

14 63 03女どもの御なとも大

14 63 03源氏の源氏かぬカアルカ<sub>三</sub>国

14 63 03御すゑへに御すゑへにも西御すゑに保

国言

14 63 03ひか事とものひかことも西

14 63 03ましりての大

14 63 04きこゆるはきこゆるも大<sub>二</sub>国穂<sub>一</sub>きこゆるも

国

14 63 04我よりもわれも西我より言

14 63 04としのかすつもりとしまさり大穂としよは

り国

14 63 04人のひかことそらおほえ大人のひかおほえ

保国穂

14 63 04なととなん保とそ国穂

14 63 04あやしかりけるあやしかる国穂あやしきか

りけるミセケチ本文同筆力<sub>三</sub>言

14 63 05いつれかはいつれか国麦阿穂

14 63 05ならむなりけむ西

14 63 05内侍のかみの内侍督の麦阿穂

14 63 05ことへのナシ国穂

14 63 05御子は御こともは保ナシ国穂こは言御子

麦阿<sub>二</sub>みこ阿

14 63 05おとこおとこ君大<sub>二</sub>国穂<sub>一</sub>ナシ阿

14 63 06なむナシ西そ保

14 63 06かしつきたてむことをかへしつきたてむ

ことを大かしつきて国かしつきたてんを

阿

14 63 06おほしをきてへおもほしをきて大<sub>二</sub>麦阿<sub>一</sub>おも

ほしおほし麦阿<sub>二</sub>ナシ<sub>一</sub>国おもほしをきてへ

穂

14 63 07とし月の年月麦

14 63 07心もとなりたまひしほとに心もなかりた

まふしほとに保心もなかりしに国穂

14 63 07あえなくあへなくて大へはかにあへな

く西あやなく国あへな<sub>二</sub>言

14 63 07給にしかは給しかは国麦阿

14 63 08やうにて心ちして国穂様にて麦

14 63 08いつしかといつしか言麦阿

14 63 08いそきおほしへいそきおほせ西おほしいそ

きし保いそきおほしくハノ誤写力<sub>三</sub>麦

14 63 08御宮つかへも御まいりも国穂

14 63 08をこたりぬおこたり給ぬ大<sub>二</sub>国穂<sub>一</sub>

14 63 08人の心人心大人の心も保

14 63 09わさこと大世のなか西よのさか保もの国

穂

14 63 09なりければなれば西

14 63 09さはかりナシ国

14 63 09いきおひいき麦

14 63 09いかめしくいまめかしく大いかめしつ西保

国言穂

14 63 09御なこり御名残よ麦御なこりに阿

14 63 10うちへのうちへは大<sub>二</sub>国穂<sub>一</sub>しへの西そ

こらの麦阿

14 63 10御たから物御かたから物とぬ先出かニミセ

ケチ力、とハシ力<sub>三</sub>西

14 63 10らうし給はうし給西りやうし給し国<sub>二</sub>りや<sub>一</sub>

うし給言穂

14 63 10所々のなとところへなとそ大ところへ

なと西保麦阿穂なと国所への言

14 63 10そのかたのナシ大

14 63 11ありさま有様麦

14 63 11ひきかへたるひきたかへたる言

14 63 11とのうちナシ大との中言

14 63 11なりゆくかんの君の御ちかきゆかりゆかり

西かんの君の御ゆかり国穂

14 63 12こそはこそ国ナシ麦阿

14 63 12ひろこりみちひろこり西保国穂

14 63 12 たまへとたまへれと大西保国麦阿 給ひつれ  
 と言 たまへれは穂  
 14 63 12 中ノうちノ西  
 14 63 12 御なからひ 御なからのひ大  
 14 63 13 もとよりももとより大西保国麦阿穂  
 14 63 13 したしからさりしにしたしからさりし  
 西  
 14 63 13 このことの大保国麦阿穂  
 14 63 13 なさけすこしすこしなさけ大西保国言  
 穂  
 14 63 13 おくれをくれて保  
 14 63 13 むらノしさすくノしつ保国穂すくノし  
 しさ言麦阿すくノ數シサ)麦すくノし  
 く穂  
 14 63 13 すき給へりけるものしたまふける保国穂た  
 まふける 給ける国穂(すこしましり給へり  
 ける言  
 14 63 14 御本上にて心をかれ給こともありけるナシ  
 言  
 14 63 14 御本上おほん本上西  
 14 63 14 心をかれこゝろをかけれ(西  
 14 63 14 こともことん大  
 穂ナシ阿  
 14 63 14 ゆかりにや 御ゆかりにや保国穂  
 14 63 14 たれにもたれも大西保麦 たれもことに国  
 穂ナシ阿  
 14 63 14 えなつかしくえなつかしう大西言なつかし  
 う保国穂  
 14 64 01 六条院には六条院は大西保 六条の院は  
 西

14 64 01 すへてすゑまで大西保国言穂  
 14 64 01 なをまた大ナシ国穂  
 14 64 01 むかしにむかしにも大  
 14 64 01 かすまへんかすまへ大ナシ麦阿  
 14 64 02 きこえ給てきこえたまうて保  
 14 64 02 こともこと西  
 14 64 02 かきをきかきをい大  
 14 64 02 御そつふんの御そふんの大御せつふん  
 の国言穂 御せうけむの麦御せうふけんの  
 阿  
 14 64 02 ふみともにもふみにも大國穂 ふみともに  
 言  
 14 64 03 中宮の 中宮大  
 14 64 03 御つきに御つきには大保国言穂 御つきにて  
 西  
 14 64 03 たてまつりきこえ保国穂  
 14 64 03 右大殿 右大ぬ殿大保 右 みぎの保 右大将  
 殿西 右大臣殿麦阿  
 14 64 03 なとはなと阿  
 14 64 04 さるへきさりぬへき言  
 穂  
 14 64 04 おとこ君たちはをどきむたちは大 おとこ  
 きみたち西をどきんたちも保 男君たちな  
 とは言  
 14 64 04 御けんふくかうふり大國穂 御けんふく  
 西 元服保言  
 14 64 04 してしたまひて大西保国言したまうて  
 保し給とて穂

14 64 05 たまひにしかは 給ひしかは大 なたしたまひ  
 にしかは保 給麦阿  
 14 64 05 殿のとの大西保国言麦阿穂  
 14 64 05 おはせてをはせ言  
 14 64 05 のちナシ大國穂  
 14 64 05 心もとなく心もとなう大  
 14 64 05 こともこと大國言穂 事とも麦阿  
 14 64 06 あれとおほかれと大國穂 あれとも西  
 14 64 06 へかめりへかめり言  
 14 64 06 ひめ君たちを ひめみやたちも西 姫君たち阿  
 14 64 06 いかにもてなし いかにもしなし穂  
 14 64 06 たてまつらむ たてまつらまし西 きこえたて  
 まつらん国  
 14 64 07 おほしみたる おもほしみたる 大言おもほ  
 し おほし言 おもほしみたる穂  
 14 64 07 みやつかへ 御みやつかへ保  
 14 64 07 よしをよし西  
 14 64 08 そうしをき そうしおい大 そうし国  
 14 64 08 給ければ 給へれは大保国言穂  
 14 64 08 給ぬらむ 給ぬらんと西麦阿 たまひぬらんか  
 しと保  
 14 64 08 おしはからせ ヲしはからはせ西 はから  
 せ麦阿  
 14 64 08 給て たまうて保  
 14 64 09 たえすあれとたまはずれと保国穂  
 14 64 09 中宮の 中宮保穂  
 14 64 09 のみナシ言

14 64 09 なりまさりなりまさらせ保なりまし

国

14 64 09 おされてをされたまうて大おきてされて

麦

14 64 10 みな人みな人ノ大保みな人は言穂皆人

も麦阿

14 64 10 むとくにむとくせらノ上カラクヲ書ク大む

とく上もノ上カラむヲ書クカ西

14 64 10 給ふめるたまふめるを大給つめる西給へ

かめるを国穂

14 64 10 すゑにすゑノ西

14 64 10 まいりてまいりては保まいり給て言まい

り阿

14 64 10 はるかにナシ大西いかてかは保

14 64 10 たてまつらむもたてまつらんを大

14 64 11 わつらはしくわつらはし西

14 64 11 又ナシ国穂

14 64 11 みむはたみんは西みんはた保みむまた

国

14 64 11 なるへきをなるへきをと麦阿

14 64 12 おもほしたゆたふおほしたゆたふに大國穂

「おほしおもほし穂」ノ「ほしたゆたふ西

言麦阿おほしやすらふに保おほしたまゆ

たふ麦

14 64 12 れせい院れいせ院大れんせい院西国冷泉

院保言麦阿穂

14 64 12 よりはよりはまた大よりも西よりまた

保より国言麦阿穂

14 64 12 おほしたたまはせてのたまはせて大國麦阿

穂

14 64 13 むかしむかしの保

14 64 13 ほひなくて御ほいなくて保いとほひなくて

国穂

14 64 13 すくしすこし大言麦阿すくい保

14 64 13 たまふし給ひてし大國穂給し西言麦阿た

まつし保給し麦

14 64 13 つらさをさへとりかへしつらさをとりそえ

て国つらさをさへとりそへ穂

14 64 14 給ふてたまひて大保国言麦阿穂て西

14 64 14 いまはいまはた国穂

14 64 14 まいてまして大保国麦阿穂

14 64 14 さたすきすさましきすさましうさたすきに

たる大保すさましくさたすきたる国穂さた

すき冷しき言

14 64 14 ありさまにありさまを保有様も麦阿有さ

まも阿

14 64 14 たまふともたまふとん大給も麦阿

14 64 14 うしろやすきおやにうしろやすくをやに

大つらみやすくをやすまに国うしろやすき

おやさまに言つしろやすきをたに麦阿つし

ろやすくをやすまに穂

14 65 01 なすらへてなすらへて西なすらへて

麦

14 65 01 給へとたまへなど大保国穂など(なと国)

14 65 01 いといと大ナシ麦阿

14 65 01 給ければたまへは大保国穂

14 65 01 いかはあるへきいかにあるへき西い

かなるへき国いかあるへき麦阿いかなる

穂

14 65 02 ことならむことにはあらむ大事にかあ

らん国事にか侍らん穂

14 65 02 すくせにてすくせにしも西

14 65 03 おほされにしかおほされにしかは大西国麦

阿おほされにしかは西

14 65 03 このかゝる言

14 65 03 世のナシ麦阿

14 65 03 すゑにやゆへにや西すゑにてや保すゑに

国

14 65 04 なんと麦阿なと穂

14 65 04 ようよく大西保国麦阿穂

14 65 04 おはするおはするかた大おはするかたち

西

14 65 04 ありてたかうて保

14 65 04 申給きこえ給西保

14 65 05 人ノ大

14 65 05 おほかりいとおほかり保

14 65 05 右大殿の右大い殿の大麦阿右の麦阿右

大将との西みきのおほいと保大との

言右の大殿の穂

14 65 05 くら人の少将蔵人少将国言麦阿

14 65 05 三条との三条の国穂

14 65 05 御はら御は言

14 65 05 あに君たちあにきみをち大あに君言あに

君たち麦

14 65 06 よりもに国穂

14 65 06 ひきこしひきこして大保ひきまじつ

国 ひきまして(つゝ)穂

14 65 06 給たまひ大保国

14 65 06 いとおかしかりし君 いとをかしかり み破

損「大 おかしかりしも西 おかしかりしきみ

国 いとをしかりし君言 いみしうをかしかり

し君穂

14 65 06 いとねんころにねんころに西保

14 65 07 申給ま したまふ破損「大 聞え給言

14 65 07 いつかたにいつか「破損」大

14 65 07 つけてもも西

14 65 07 もてはなれ給はぬ「マ」もてはなれぬ大ノては

八磨滅ニヨリミエズ大保 はなれぬ国穂

14 65 07 御なからひなれはこの 御なかなれ「破損」

大 御中ならひなれはこの国 なからひなれは

言

14 65 07 君たちのきむたちの大西言

14 65 08 むつひまいりむつひより言まいりむつひ

穂

14 65 08 給なとなど大國穂 給(と)など西

14 65 08 するはしたまふ「破損」大 すれば西し給

国穂

14 65 08 けとをく とほ(と)破損「大 けとほくも保言

14 65 08 もてなし「ム」もてなしきこえ保

14 65 08 女房にも 女房など大國穂(な)とん(な)とも

国穂「ねうはつにも西

14 65 08 けちかく ちか(と)磨滅「大

14 65 08 なれよりつゝなれよりたまひつゝ大

14 65 09 思事をかたらふにも おもふことかたらふに

大

14 65 09 あたり あたりを穂

14 65 09 さらぬ さふらふ大

14 65 09 みゝかしかましさをみゝかしかましさをそ

大 みゝかしましさを保

14 65 10 うるさきゝうるさい大

14 65 10 心くるしきに心くるしさに大 心くるしきと

麦阿

14 65 10 かむのとも かむのきみも大保麦阿 かむの

きみは国穂

14 65 10 おほしたり おほいたり保 おほ したり

麦

14 65 10 はゝ北の方のはゝ君の穂

14 65 11 たてまつりたてまつね 西八リヲ削ッテレヲ

書クカ「大西保国

14 65 11 給てたまふて大 たまふ保 給へ国 て麦 給

て阿

14 65 11 かるひたる かるひたる大西保 もろひたる

言

14 65 11 ほとに程 麦

14 65 11 侍めれとはへめれと大西 はへるめれと

保 侍へれと国 侍めれと穂

14 65 11 おほしゆるす おほしゆる西 おほしゆるさる

ゝ国穂「おほし おもほし穂」

14 65 11 かたもやと ナシ穂

14 65 12 なむ ナシ国穂

14 65 12 おとゝも おとゝにも言

14 65 12 給ける たまうける保

14 65 12 さまにも さまには大西国穂

14 65 12 おほしをきて給はす おほしをきてねは大西

保国 おほしをきつれば穂

14 65 13 なむ ナシ穂

14 65 13 世の 世中の大國穂 ナシ麦阿

14 65 13 きこえきゝみゝ保

14 65 13 かるゝしからぬほとにかるゝしからず

大穂 かるゝしからぬほとに西保 かひゝ

しからす国

14 65 13 なすらひならはなすらひたまはゝ大なそら

ひなは西保 なすらひなは保 なすらひ給なは

国穂 なすらへなしは言

14 65 14 さもやと さやうに国

14 65 14 おほしける おほしたり麦阿

14 65 14 ゆるし給はすは ゆるいたまはすは保

14 66 01 おもへり 思ひたまへり西

14 66 01 こよなき こよない大

14 66 01 事とはおほさねと女かたの心ゆるし給はぬこ

との 事とはおほさるれと女かたのゆるし給

はぬ事の麦

14 66 01 事とはことゝ国

14 66 01 おほさねとおほさるれと麦阿

14 66 01 女かたの 女方の西をんなの保国穂

14 66 01 心ゆるし ゆるし大麥阿 心ゆるひし西こゝ

ろゆるい保

14 66 01 あるは ある麦阿 有なは穂

14 66 02 をときゝも 人きゝも言をを聞も麦を聞も

阿

14 66 02 きこえつくさきこえつく大  
 14 66 02 人をも人も大西人人にも国穂  
 14 66 02 あなかしこあなかしこや大国穂あなかしこ  
 ノ西  
 14 66 02 あやまちあやまち国  
 14 66 02 ひきいつなとひきいつなやなと大ひきい  
 つなと西保ひき出る事と麦ノと八虫損ニヨ  
 リ推読「麦阿  
 14 66 03 の給にの給麦阿  
 14 66 03 くだされてなむかたさりて国なやくたされ  
 て麦阿かたさりてなむさ八ま力」穂  
 14 66 03 わつらはしかりけるわつらはしかりてける  
 大  
 14 66 03 六条の院の六条院の大保国言麦阿穂  
 14 66 03 しゆしやく院のすさく院の大西国朱雀院の  
 保言麦阿穂  
 14 66 04 宮の二の宮の大保三宮の保穂三条の宮の  
 国  
 14 66 04 御はらに御はらにおほし麦  
 14 66 04 給へりし君たまへりしきみは大穂給へるき  
 みなれば西給えりにしきみは国給へりし君  
 の言  
 14 66 04 れせい院にれせい院の大西国れんせい院  
 の西国冷泉院に保言麦阿冷泉院の穂  
 14 66 04 おほしかしつくおもほしかしつく大おほし  
 めししか西  
 14 66 05 四位の侍従くら人のしつ西四位侍従国言  
 阿穂四位の侍従麦  
 14 66 05 十四五はかり十四五のほと大保国穂十四は

かり西  
 14 66 05 いとナシ麦阿  
 14 66 05 きひわにきひわに上カラわ書ク  
 大ちくはに西  
 14 66 05 ほとひと大  
 14 66 06 心をきて心のをきて大  
 14 66 06 おとなしくおとなしく大西をとなく  
 しつ保国おとなしく麦  
 14 66 06 めやすくめやすつくノ上カラつ書ク西め  
 やすき国穂  
 14 66 06 人に人には保  
 14 66 06 まさりたるまさり給へる国穂まさり麦  
 阿  
 14 66 06 おいさきしるく御をいさきしるくて国御お  
 いさきしるくそ穂  
 14 66 06 ものしもてなし保  
 14 66 06 給をたまふ大国穂  
 14 66 07 むこにてもむこにて大保国穂んこにても  
 西  
 14 66 07 みまほしくみまほしと大みまほしつ西保  
 国  
 14 66 07 おほしたりおほいたり大保  
 14 66 07 このこの大  
 14 66 07 かのナシ麦阿  
 14 66 07 三条の宮と三条宮と大麦三條の宮言穂三  
 条宮など阿三条宮穂  
 14 66 07 いとナシ西保  
 14 66 08 おりノのをりノ大をりの西  
 14 66 08 あそひ所にはあそひところに大国穂

14 66 08 きむたちにきむたちに大西保国言阿君たち  
 も麦君たちに穂  
 14 66 08 ひかれてひかされて大西国麦阿穂ひかされ  
 つ保  
 14 66 08 ときノときノも大国穂をりノ保時  
 も麦阿  
 14 66 09 ありナシ国  
 14 66 09 心にくき心にくきほと保心にくきさまに  
 も国  
 14 66 09 女の女大保穂  
 14 66 09 女の14 67 04 すきノしさもナシ  
 国  
 14 66 09 なれはなれは大  
 14 66 09 わかきおとこのわかおとの西わかおとこ  
 の保我おとらしの麦阿  
 14 66 09 心つかひ心穂  
 14 66 09 せぬなうせぬなく大西保麦阿穂  
 14 66 10 みえしらひみえしらひ大西保言穂見えし  
 らひかひイ阿  
 14 66 10 なかに中に言麦阿穂  
 14 66 10 蔵人少将くら人の少将大西保言穂  
 14 66 10 なつかしくなつかしう大穂なつかしけに  
 西なつかしくなまめかしう保  
 14 66 11 心はつかしけにナシ西心はつかしく  
 言  
 14 66 11 なまめいたるなまめきたる穂  
 14 66 11 かたはさまは穂  
 14 66 11 四位侍従の四位のしつ西の大西保穂四位侍  
 従の麦

14 66 11 御ありさまに ありさまに大穂 御ありさまヨ  
 14 66 11 なる人そ なるへきなん大 二 たる人そ西  
 保にか物子 力アル言 なる人は麦阿 た  
 くうへきなん穂  
 14 66 11 なかりける なかりけり麦阿  
 14 66 12 六条の院 六条院大西保言麦阿  
 14 66 12 御けはひ 御け穂  
 穂  
 14 66 12 ちかうと ちかしと保 ちかく麦阿 ちかくと  
 穂  
 14 66 12 思なすか おもひなす大麦阿穂 おもひなす  
 かけたかうとおもひなすか西 思ひなすに  
 保  
 14 66 12 心 ナシ穂  
 14 66 12 ことなるにや ことにや麦阿穂  
 14 66 12 世のなかに 世中の西 世中穂  
 14 66 13 給へる 給ける大 給西穂  
 14 66 13 人 人なり大西保言穂 也麦阿  
 14 66 13 わかき わかい大  
 14 66 13 人々 人西穂  
 14 66 13 ことに まことに麦阿  
 14 66 13 めてあへり めてあへるを大保穂  
 14 66 13 かむの殿も かのきみも大 麦阿 かの殿  
 西 かの君穂  
 14 66 14 けにこそ けにこそ 麦  
 14 66 14 のたまひて のたまふて保  
 14 66 14 なつかしう けなつかしう大 けちかうなつか  
 しきほとに保 なつかしく言麦阿穂  
 14 66 14 物きこえ給なとす のたまひなとす 磨滅

大ものなときこえ給保 物聞え給なはずは  
 へノ書人同筆力言 物聞えなとす 麦もの  
 たまひなとす穂  
 14 66 14 院 六条院保  
 14 66 14 御心はへを 御はへも大 御心覚(はへ)を  
 麦  
 14 67 01 きこえて きこえさせつゝは 大穂 きこえ給て  
 は保  
 14 67 01 なくさむ なくさん西  
 14 67 01 よなう かななく大穂 よなく西保麦阿  
 14 67 01 いみしう いみしく穂  
 14 67 01 のみ ナシ保  
 14 67 01 おもほゆるを おほゆるを西穂 おほしたるを  
 保 おもゆるを 書人同筆力言  
 14 67 01 御かたみにも 御かはりには 大 御かた身には  
 穂  
 14 67 02 みたてまつらむ 見奉らん 麦  
 14 67 02 御ほとにて ナシ穂  
 14 67 03 たいめん たいめ大 麦阿 御たいめん保  
 14 67 03 のたまひて きこえたまひて大  
 14 67 03 はらからの この西 はらからの君の言はら  
 かこの穂  
 14 67 03 つらに やつに穂  
 14 67 03 きこえ ナシ穂  
 14 67 03 給へれば たれば西 給へは 麦阿  
 14 67 03 かのきみも かの君阿  
 14 67 04 所にところには 保 つらに言  
 14 67 04 思ひて おもふヨイ力穂  
 14 67 04 よのつねの よのつねに穂

14 67 04 すきノしきも すきノしきさまにも  
 穂  
 14 67 05 いたういたく 西国穂  
 14 67 05 しまりたるを そしまりたまへるをそ  
 大しまりたるを保  
 14 67 05 こゝかしこの こゝかしこの ノ上力ラ先出  
 こヲ書クカ西 所かしこの保すこし此 麦  
 阿すこし此 こし八虫損ニヨリ推読 麦  
 14 67 05 わかき人とも わかうとゝも 大 国 わかき人  
 ともの西 わかき人ノは保 わかき人ともは  
 阿 わかうとも 穂  
 14 67 05 ちおしう ナシ大 国穂 ちをしく西保 麦  
 阿  
 14 67 05 さうノしき さうさしき 国  
 14 67 06 事に 物に大 保 国 物穂  
 14 67 06 いひなやまし いひなやまし 西  
 14 67 06 む月 月西  
 14 67 06 かむの君の 督の 君の 麦  
 14 67 06 御はらから 御はら西  
 14 67 07 うたひしようたひしきみよ大 保 国穂 うたひ  
 しゃ西  
 14 67 07 藤中納言とつ中納言は 国 頭中納言 麦  
 阿  
 14 67 07 故大殿のこをほいと の保 麦阿 右おほと  
 の言こ大殿穂  
 14 67 07 太らう ナシ大 御たらう 国穂  
 14 67 07 まきはしら まきはしら 大  
 14 67 07 ひとつはらひとつはら 大 御ひとつはら  
 保ひとつ御はら穂

14 67 07 などナシ国  
 14 67 08 右のおとゝも 右大いとの大 右の大殿ゝも  
     国 右おとゝも言 右大殿も穂  
 14 67 08 御子ともナシ大 御こ西国穂  
 14 67 08 なからみなくから西ナシ言  
 14 67 08 ひきつれて引つづれて麦  
 14 67 08 御かたちより 御かたちより大 御かたちよ  
     り 麦  
 14 67 09 事とこころ西穂  
 14 67 09 なくなく大  
 14 67 09 人ノ大  
 14 67 09 御ありさま 御有様の麦阿 御有さまの  
     阿  
 14 67 09 おほえなり おほえことなり大 おほえな  
     り 西  
 14 67 09 君たちも きんたちも 保きみたち 国言  
     穂  
 14 67 09 さまノいとさまノいと大 いとさまノ  
     いと西 いとさまノ言 さまノ穂  
 14 67 10 よりは とも言  
 14 67 10 つかさくらあつかさくらひは大西保言  
 14 67 10 すきつゝすきつゝ大 うちすきつゝ保国穂 ず  
     きて 麦阿  
 14 67 10 なにこと なに事を西保国言 麦阿穂  
 14 67 10 みえたるへし みえたるけしきとも 大保  
     国穂 見へたるかし 麦阿 見へたるかし 麦  
 14 67 11 よとゝもに ひめきみとん大 ナシ国穂

14 67 11 蔵人の君はくら人の少将は保国穂 蔵人少将  
     は穂  
 14 67 11 さまナシ国  
 14 67 11 ことなれと ことなり大 ことなど西  
 14 67 11 うちしめりて うちしめて大  
 14 67 12 こと心大  
 14 67 12 なりに国  
 14 67 12 御木丁へたてゝ みき丁許へたてゝ大 みきち  
     やうはかりひきつゝ へたてゝ保 御木丁は  
     かりをひきへたてゝ国穂  
 14 67 12 かはらす かはらぬ保  
 14 67 12 御ものかたり 物かたり大  
 14 67 13 給そのことゝなくてしはノも ナシ国  
 14 67 13 そのことゝなくてそのことゝなくて  
     穂  
 14 67 13 しはノも しはしも西 しはノもなくて 麦  
 14 67 13 えつけたまはらす きこえつけたまはらす大  
     国 えきこえ つけ 給はらす保 つけ 給はら  
     す 国 麦阿  
 14 67 14 内に内へ 麦阿 内に 本まゝ穂  
 14 67 14 まいる まいること保  
 14 67 14 ほかのありき ほかのありきなど 大 麦阿 ほか  
     は保 ほかのありきなど 国穂(なんと) なんと  
     穂( )  
 14 67 14 うゐノしうゐノしふ穂八 ノ上力  
     ラういヲ書ク 西保言穂  
 14 67 14 なりにて なりにて 国  
 14 67 14 御物かたりも 御物かたり 阿穂

14 68 01 きこえきこえさせ保国穂  
 14 68 01 おりノをりノを大をりノも西 麦  
     阿  
 14 68 01 おほく ナシ大穂 おほくて言  
     西 侍保侍 なむ 八文字力 国 侍になん  
     穂  
 14 68 01 わかき わかい大保  
 14 68 01 おのこともはをのことんは大 おとこ共は 麦  
     阿  
 14 68 02 ことには ことにも大保 ことに国穂  
 14 68 02 給へかならず 給へなときこえ給かすならず  
     大 給へからず言 たまへ穂  
 14 68 02 心さし 御らむせられよ 心さしを御らんせざ  
     せよ 麦阿  
 14 68 02 侍りはへる 大阿はんへり 西侍 国言穂  
 14 68 03 きこえ まうし大  
 14 68 03 かす ナシ国穂  
 14 68 03 やうになりゆく ナシ保  
 14 68 03 ありさまを 有様を 麦  
 14 68 04 おほし おもほし大  
 14 68 04 御事も 御事をも 保 事も 国言穂  
 14 68 04 いとゝいと(と)大 ナシ西国穂  
 14 68 04 わすれかたく ナシ西 わすれかたう 保 麦  
     阿  
 14 68 04 思たまへられけると おもひたまへしれける  
     など大 思たまへられ侍など 保 思ひ給へられ

けるなど国穂「思ひ給へ」思給へ穂「思ひ給へ」  
 へられけると言思給へつゝけられけると麦  
 阿  
 14 68 05 申給ける申たまふ大保国穂 申給へる西 聞  
 え給ける言  
 14 68 05 の給はするのたまはず侍る保  
 14 68 05 ことこそ大  
 14 68 05 ほのめかしほのめかい保  
 14 68 05 きこえナシ保国穂  
 14 68 05 はかノしうはかノしき大保国穂 はかノ  
 しく麦阿  
 14 68 06 中ノなかノに大國穂  
 14 68 06 みくるしきをどくるしきをとなむ大國穂く  
 るしきをくるしき穂「みくるしきを保麦  
 阿見くるしき」とアルカ言  
 14 68 06 おもひたまへなむ 思たまへ大 かたノおも  
 ひ給へなん西 かたノなんみたまへ保 思  
 ひ国穂かたノなん思給言 思給へなん麦  
 阿  
 14 68 06 わつらふとわつらふをと言  
 14 68 07 おほせらるゝこと おほせこと西言 おほせら  
 るゝ事も保  
 14 68 07 あるやつにありけに大國穂 あるやつ  
 西  
 14 68 07 うけたまはりしをうけたまはりし保 つけ給  
 しを言  
 14 68 07 おもほしおほし西 おほし保国言 麦阿  
 穂  
 14 68 08 さたむへきうへき穂

14 68 08 事にかことにかは大西言にかは保国  
 穂  
 14 68 08 院は院も大保国穂  
 14 68 08 御くらぬくらひ大  
 14 68 08 さらせさり大保国穂  
 14 68 08 給へるにたまひたることはかりに大給へ  
 るはかり西保国穂  
 14 68 08 すきたるすきにたる大西  
 14 68 08 心ちすれとこちすれ大西保国穂  
 14 68 09 御ありさまは御さまに大 御有様は麦 御さ  
 まは穂  
 14 68 09 ぶりかたくぶりかたう大保言  
 14 68 09 のみなん国穂  
 14 68 09 おはしますめるをおはします西  
 14 68 09 よろしうよろしく西保言 麦阿穂  
 14 68 10 おいゝつるをいいてつる大 おもひいつる  
 西  
 14 68 10 女こをんなこノ上カラコヲ書ク西をん  
 なこなと保女国  
 14 68 10 侍らましかははへらましかはと大西保国言  
 麦阿はんへらましかはと西  
 14 68 10 思ひたまへよりなから 思たまよりなから  
 大 おもひ給へとりなから西 思たまへなから  
 保 思給へよりなから国穂 思ひ給ひよりな  
 ら言 思給へより侍なから麦阿  
 14 68 10 御中 御なか西 御ありさま保  
 14 68 10 ましらふへきましろふへき国  
 14 68 11 物のもの大  
 14 68 11 侍らてはへらて大はんへらて西

14 68 11 なんナシ穂  
 14 68 11 ちおしうくちをしく保国言 麦阿穂  
 14 68 11 おもひたまへらるゝおもひたまふる大西保  
 国穂 思たまふる保 おもふ給ふる国 思給へ  
 らるゝ言 思給へらるゝそくちをしかりける  
 麦阿 思給る穂  
 14 68 11 女一の宮の女御は女一宮の女御は大言 麦  
 阿 女一の宮の女御らはらニミセケチカ西 一  
 の宮の女御は保  
 14 68 12 ゆるし御ゆるし麦阿  
 14 68 12 給や 給らんや保 給にや国穂  
 14 68 12 さきノさまノ麦阿  
 14 68 12 人ノ保  
 14 68 12 はかりに事はかりに穂  
 14 68 12 よりナシ大よりて保よりつゝ麦阿  
 14 68 12 事もこと大國に穂  
 14 68 13 侍りかしはへりきかし大はんへりしか  
 西 侍らんかし言 侍し麦阿  
 14 68 13 申たまへはきこえ給へは保言  
 14 68 13 つれノにつれノの西  
 14 68 13 のとかなりにたるのとか なたる 破損  
 大ノとかなりにかたいしに西  
 14 68 13 ありさまも 有様を麦阿 ありさまを阿 御有  
 さまにも穂  
 14 68 14 心につしるみて 石 破損大 所につしる見  
 て穂  
 14 68 14 なくさめまほしきをすくさまほしきを大西  
 保国穂  
 14 68 14 などのすゝめ給にな きこえたまふに破



## 損大

- 14 68 14 かの西麦阿 ナシ国穂  
 14 68 14 すゝめ給につけて御すゝめにより保  
 14 68 14 たにおもひ給へよるに へよる恒破損大 た  
 に思ひたまへつよるに西 たに思たまへよる  
 に保麦阿 思たまへよるに穂  
 14 69 01 なんとなど西 なんと保国穂  
 14 69 01 きこえ給きこえ給に西保  
 14 69 01 こゝに心に国 ことに穂  
 14 69 01 給てたまて大 たちて西 たまつて保て  
 穂  
 14 69 01 三条の宮に 三条宮に国言麦阿  
 14 69 02 しゆしやく院の すさく院の大西国 朱雀院の  
 保言麦阿穂  
 14 69 02 ふるき心 御ふるき心大 ふかき心穂  
 14 69 02 心ものし給 ところをしたまふ西 心の物し給  
 言  
 14 69 02 人々 人ノは大国穂  
 14 69 02 六条院の 六条院大 六条の院の西穂  
 14 69 02 かたさまのも 御かたさまも大 御かたさまに  
 も国穂 かたさまも麦阿  
 14 69 03 かの ナシ麦 此阿  
 14 69 03 入道の宮をは 入道の宮を国穂 入道宮をは麦  
 阿 入道宮を穂  
 14 69 03 えよきす えよかす大 よにらす西 よかす国  
 穂  
 14 69 03 なめり ナシ保国穂 なめり言  
 14 69 03 左近中将 さこんの 中将大西 中将国穂 右の  
 中将麦 右近の 中将阿

- 14 69 03 右中弁 右大弁大 左中弁西麦阿 左中将言  
 14 69 04 侍従の君なともしうのきみなるもなるお  
 もト書イテ、もヲおノ前ニ移ス符号アリ大 侍  
 従なと国穂 侍従君なとも麦阿  
 14 69 04 やかて ナシ大  
 14 69 04 御ともに 御とんに大 御もとに西  
 14 69 04 いきをひ 御いきほひ大  
 14 69 05 ことなり こそとなり大人にことなり  
 西  
 14 69 05 四位侍従 四位のしう大西保 四位侍従も国  
 穂 四位侍従も穂  
 14 69 05 給へり 給へる言  
 14 69 05 おとなしき おとなしきも大西保国穂 おとな  
 しく言  
 14 69 05 わかきんたち わかきみ西 わかきんたち  
 保 わか君達言麦阿  
 14 69 06 さまノに さまノ 国穂 様々に麦  
 14 69 06 いつれかは いつれか穂  
 14 69 06 わるひ わるひ保 わるひれ言  
 14 69 06 たりつる たまへる大国穂  
 14 69 06 めやすかりつる めやすき国穂  
 14 69 06 中になかに大西保 なかりに西 に麦阿  
 14 69 06 たちをくれてこの君の このきみのたちをく  
 れて大国穂 立をくれてこの君言  
 14 69 07 たちいてさしいて大西保国穂  
 14 69 07 いとと西 ナシ国言穂  
 14 69 07 こよなく こよなく大 かきりなく言  
 14 69 07 めとまる めとまる言

- 14 69 07 心ちして ナシ国穂  
 14 69 07 物めてする ものめてやすき保  
 14 69 08 わかき人たちは わかうとたちは大 わかき  
 人たち西 わかき人ノは保 わか人たちは  
 穂  
 14 69 08 けり ナシ大国穂  
 14 69 08 なといふ ナシ保 といふ穂  
 14 69 08 このとのもの「保ミセケチカ」大保国  
 穂  
 14 69 08 ひめ君の 姫君の 麦  
 14 69 08 御かたはらには かたわらには大国 かたはら  
 に麦阿穂  
 14 69 09 みめと みめなんと大西国穂 みめなんと西国  
 穂  
 14 69 09 きくくきくく言  
 14 69 09 いふけに いはけに大 いふけに国穂 けに  
 麦阿  
 14 69 09 いと ナシ大国麦阿穂  
 14 69 09 わかうわかく西保国麦阿穂 わかく麦  
 14 69 09 なまめかしきを かしけになまめかしき大国  
 穂をかしき保  
 14 69 09 さまして さまは西  
 14 69 10 うちふるまひ給へるにほひかなとよの ナシ  
 「大成」ナシトスルガ、脱文デハナク一行分  
 破レカ大  
 14 69 10 給へる 給ふ言  
 14 69 10 にほひかなとにほひをひかせの保をい風  
 阿  
 14 69 10 なと国穂 にほひなどの言にほひかなとそ麦

14 69 10 よのつねならずよのつねならぬ保麦阿  
 14 69 10 ひめ君とひめきみたちなと大西ひめきみた  
 ちと保  
 14 69 10 きこゆれときこゆれとも西きこゆれとも保国  
 穂きこゆと言  
 14 69 11 人はは保国穂  
 14 69 11 まざるなめりとナシ大まさるなりと西ま  
 ざるめりと保まされもと国まさるなめりか  
 しと言「ことなりと穂  
 14 69 11 みしりみ国穂  
 14 69 11 給らむかしたまつてん保給らん阿給はむ  
 かし穂  
 14 69 11 おほゆるみゆる保  
 14 69 11 かむの殿かんの殿の大西言かむのとは  
 保かんの君の国麦阿かんの君穂  
 14 69 12 のたまへればのたまひつれば西きこえたま  
 へれば保の給へは言麦阿  
 14 69 12 はしよりみはしより保国穂御はしより  
 国  
 14 69 13 みす御す国  
 14 69 13 おまへ御まへ保国穂御前言  
 14 69 13 むめナシ大むめの保  
 14 69 13 心もとなく心もとなく言  
 14 69 14 はつこゑもはつこゑ西さえつるこゑの国  
 穂  
 14 69 14 いといと大  
 14 69 14 おほとかなるにおほとかなり恒書人同筆力  
 言おほとかに麦阿  
 14 69 14 いとすかさせたてまほしきいとすかしたてま

ほしき大西いとすかさせたてまつらまほしき  
 保国言麦阿穂いとすかせ奉らまほし奉ら  
 まほしき麦  
 14 70 01 たまへれば給へればへアルカ西給へれい  
 は麦  
 14 70 01 人々人ノは大  
 14 70 01 はかなきはかなきガサニニエルノ八中損  
 大  
 14 70 01 事ことゝも西  
 14 70 01 ことすくなにいと事すくなに保  
 14 70 01 心にくきほとなるをねたかりてをかしきほ  
 となれば国穂(ほと人穂)  
 14 70 01 ほとなるをほなるを大  
 14 70 02 きこゆるまつして大申し西いひて保いふ  
 国言穂  
 14 70 02 上らうのさらうの西上らうなる人の保上  
 らう国穂  
 14 70 02 たまふたまへる大西保きこゆ国穂  
 14 70 03 おりてみはおりてみよ国  
 14 70 03 くちはやしすこしくちはやし大  
 14 70 03 きゝてき「磨滅力」西  
 14 70 05 よそにてはよそにみて大国穂「磨滅」  
 西  
 14 70 05 もきゝなりとやも木々なりやと国くちはや  
 しとや穂  
 14 70 05 したにほへるしたにほゑむ大西保下に  
 にほは(ムヨメズ)穂  
 14 70 05 梅のはつ花のしつえを大國穂はなのしつ  
 くを西々ムめのしつえを初花イ保

14 70 06 み給へ心みたまへ大保国  
 14 70 06 などとあれば国  
 14 70 06 いひすさふにすさふるに大國麦阿穂いひす  
 さふるに保  
 14 70 06 まことはまことに大國  
 14 70 06 色よりもといろよりもなと大保国穂色より  
 はと麦阿  
 14 70 06 ちノナシ大保国穂  
 14 70 06 ひきもつこかしつへくひきもつこかしつへ  
 大言ひきつこかしつへく保国穂  
 14 70 07 さまよふさまよふに保  
 14 70 07 いて給ていて給うて大保いてゝ西いて給  
 へり麦阿  
 14 70 07 うたての(み)うたての麦  
 14 70 07 こたちやくそたちや大きみたちや西こた  
 ちや大ヲ削ッテこヲ書ク力保人ノや国  
 穂  
 14 70 07 はつかしけなるはつかしけなき言  
 14 70 08 さへナシ国  
 14 70 08 よくよう大保  
 14 70 08 おもなけれおもなけれ西  
 14 70 08 しのひてしのひやかに大國穂  
 14 70 08 なりナシ保  
 14 70 08 まめ人とこそまめ人とこそは大西保国  
 穂  
 14 70 09 つけれつけ西  
 14 70 09 いとと麦阿  
 14 70 09 くんしたるうしたる大くしたる西保麦  
 阿

14 70 09 名かなと 国  
 14 70 09 思あたまへり 思ひ給えり 国麦阿  
 14 70 09 てん上なともまた また殿上なとん大穂なと  
 んなとも穂 殿上なとんまた のノ上カラ殿  
 上ヲ書ク力 西 殿上もまた保 いたまた殿上な  
 と 国  
 14 70 10 ありかて あるかて 西  
 14 70 10 せむかう せかう 大西  
 14 70 11 はかり はかりして 西 ナシ言  
 14 70 11 さしいて さしいたし 大國 さし 出麦  
 14 70 11 たまへり たり 麦  
 14 70 11 おと といと 国 をと 麦阿  
 14 70 11 ねひまさり ねひまさり 大 ねひ保  
 14 70 12 二院に こゐんにこそ保 ぬんに 国穂  
 14 70 12 よう よく 大西 国麦阿穂  
 14 70 12 こそ こそは 西 ナシ保  
 14 70 12 おほえて たてまつり にたてまつり 大國穂 おほ  
 え保  
 14 70 12 給へれ 給へ 麦  
 14 70 12 に給へる かたちもにたてまつり 給へる まつ  
 八虫損ニテ推読 大 かたちはにたまへる 保か  
 たちもにたまへる 国穂  
 14 70 12 所 ところ 西  
 14 70 12 みえ給はぬを みえぬを 大國 みえねと 保を  
 はせぬを穂  
 14 70 13 いと いと 西 ナシ 国穂  
 14 70 13 しめやかに しのひやかに 西  
 14 70 13 なまめひたる なまめきたまへる 西 国穂  
 14 70 13 もてなし もてなし こそ 大國穂 こそ

西 もてなし 保言麦阿  
 14 70 13 思ひやらる 思ひやらる 国穂  
 14 70 14 かうさまに こそ かうさまに 大 かうさま  
 まにて 国さまに こそ言 かうさまに こそ穂  
 14 70 14 かしなと かしと 大穂 と 国  
 14 70 14 思いて 思いて こそ 大 保言麦阿穂 思ひ  
 て 西 思ひて こそ 国  
 14 70 14 うちしほれ 給 うちしほれた たまふ 大保  
 穂 うちしほれた たまふ 大 西 しほれた 給 麦阿  
 14 70 14 なこり ナシ 西  
 14 70 01 とまりたる かうはしさを かうはしきかのと  
 まりたる 西 とまれる かうはしさを 保  
 14 70 01 人々は 人々 西 ナシ 穂  
 14 70 01 めて つかへる めて 御かへる 御八くつ  
 ノ誤写力 大 めてかへる 西  
 14 70 01 侍従の君 侍従の君は 麦阿  
 14 70 01 うれたし うれはし 西 うれし 国  
 14 70 02 思ひければ おほえければ 麦阿  
 14 70 02 廿日 廿日 廿日 大 保 国穂 廿日 廿日 西  
 言 廿日 西 西 麦阿  
 14 70 02 ころ ほと 大 西 国穂  
 14 70 02 むめの花 さかりなる に むめのは なさかり  
 に 大 むめの さかりに 国穂 梅花 さかりなる  
 言  
 14 70 02 すくなけに なけに 保  
 14 70 03 すき物 すさひ 大 すむもの 書人 同筆 力 言す  
 きも穂

14 70 03 ならば むかし ならば さむかし 保 ならんか  
 し言 ならば こそ かんかし 麦阿  
 14 70 03 おほして おもひて 大 西 保穂 おもひ 西  
 国 おほえて 言  
 14 70 03 藤侍 従 頭 侍 従 麦阿  
 14 70 03 御もとに 許に 西 保 国 麦阿穂  
 14 70 03 おはしたり おと おはしたり 大 をはして  
 保 おはしたる 言  
 14 70 03 中門 中門より 大 国穂 ナシ 保  
 14 70 04 ほとに ほとに まへより 西 穂 ほとに 中門の  
 もとに まへより 保 ほとに もとより 国 ほとと 麦  
 阿  
 14 70 04 なをし ナシ 阿穂  
 14 70 04 すかた ナシ 大 保 国 内 穂  
 14 70 04 けり ナシ 国 麦阿  
 14 70 04 かくれなむと かくれなりと 西 かくれなと  
 国 たれならんと言 かくれなんと 麦  
 14 70 04 思ひける おもへる 大 保 おもへり ける  
 西  
 14 70 04 ひきと めたれは ひきと めたれは 大 ひきと  
 められたれは 保  
 14 70 05 少将 中将 西  
 14 70 05 さつ こと 西 琴の 麦阿 生 こと 西 穂  
 14 70 06 こゑするに こゑするを 西 をと するに 保 ぎ  
 こゆるに 国 聲き こゆるに 穂  
 14 70 06 なめり なり 大 なり けり 保 麦阿 なんめり  
 言  
 14 70 06 くるし けや くるし けに 保  
 14 70 07 思はしめむは おもひはしむる 西 思はしめは

言

14 71-07 わさかなとおもふわさかな大 わさかなと思  
保 わさかなとおもひ麦阿

14 71-07 こと御こと大 琴麦阿

14 71-07 こ象もこ象保

14 71-07 いさいと言

14 71-08 ひきつれてひきいれつ大保国穂 ひきいれて

西

14 71-08 にしのわたとのゝにしのゝわたとのゝ

国

14 71-09 木のもとにもとに大保国穂 木本に言

14 71-09 うそふきて うそふきて西

14 71-09 たちよる たちたる国穂

14 71-09 けはいのけは西保国穂

14 71-09 花よりむしろ たかよりもこよなく国花よ

りもこよなう穂

14 71-10 さと さと穂

14 71-10 うちにほへはうちにゝほひければ大うち  
にほひければ西保国穂 うち句へは言

14 71-10 つまとまつと西

14 71-10 おしあけてをしあけてゐたるに大をしあけ

てゐたる保国穂

14 71-10 あつまをあつ まを穂

14 71-10 いとナシ言

14 71-10 よくよう大保

14 71-10 女のことにて女ことにては西国穂

14 71-11 りよのうたはかうしもうちわたりにてなと

こたふるにも大 見りちのかたかうしも見

八呂ノ誤写力西 呂律のしらへいとかうしも

保 はちのしらへなとかく国 里ちのうたはか

うしも言 里ちのかたはかうしも麦阿 里ちの

しらへなとよく穂

14 71-11 あはせぬをえあはせぬを大 あはせぬ物を麦

阿 あはせたり女のことにてぬ物を麦

14 71-11 いたしいといたし保

14 71-11 いまひとかへりおりかへしうたふひはもにな

くナシ西

14 71-11 ひとかへりひとこ象大 ひとかへし国言麦

阿

14 71-12 おりかへしをりかへして大 ナシ国穂

14 71-12 うたふうたふを言麦阿

14 71-12 ひはもひわを国穂 ひは(わ歟)も麦

14 71-12 になくひく大保国穂

かしうも西 いまめかしく国麦阿

14 71-12 ゆへありてゆえひて国

14 71-12 もてなひもてなし大西保国 なし穂

14 71-12 あたりそかしとあたりそかし西

14 71-13 とまりぬれはとまりければ大國穂 とまりつ

ねは西 とまりつれば保

14 71-13 こよひ 今夜言

14 71-13 うちとけて 打とけ麦

14 71-13 なとも など大國穂

14 71-14 わこん わらうたきん大 わらむた国 御和)

琴麦

14 71-14 さしいてさしいたし言

「テ」ふれぬを保

14 71-14 かむのとの かむのきみ西国穂 ナシ麦

阿

14 72-01 こちしのおとゝこちゝおとゝ西

14 72-01 御つまをとにつまおとに西国穂

14 72-01 なむこそ保 ナシ麦なん阿

14 72-01 かよひたまへるといとうようかよひたまへる

と大穂 ようよく穂 いうようかよひ給へり

と保 いうよくにたまへると国

14 72-01 きゝわたるをきゝわたるに保

14 72-01 まめやかに まやかし 書入同筆力言

14 72-02 ゆかしくゆかしく西保国言麦阿穂

14 72-02 のたまひいたしたればいひいたしたまへれ  
は大國穂の給ひ出したれば麦

14 72-03 あまへてあまへ国穂

14 72-03 事ナシ大國穂

14 72-03 心にもいらす心 いれす大心にもいれす保

国穂

14 72-03 かきわたしかきならし保 かきはたし

麦

14 72-04 給へる給へは国

14 72-04 けしきけに大保国穂

14 72-04 いとよく大國穂 いとゝ西

14 72-04 むつさざりしむかひきこえざりし大むつひ  
きこえざりし西保麦阿 きこへざりし国

14 72-05 思ふに思ふか大保国 思へは麦阿 思穂

14 72-05 いとナシ大國穂

14 72-05 はかなきはかない大

14 72-05 ついてにもつひてに国穂

14 72-06 たてまつるに給へるに西国穂 きこゆる

保

14 72-06 あはれなるおほかたあはれなりけるおほく

国 あはれなりける大かた穂

14 72-06 あやしうあやしく大麥阿ナシ西保国

穂

14 72-06 こ大納言のこ権大納言の大穂 故大納言のみ

や国

14 72-07 御ありさまにみありさまにこそ大保 みあ

りさまに西言ありさまにこそ国 御有様に

麥御有さまにこそ穂

14 72-07 ようよく大西保国麥阿穂

14 72-07 おほえおほえて穂

14 72-07 ことのね 琴の音麥阿

14 72-07 なども大國穂をも西 なども保

14 72-07 それとこそ それかとこそ言

14 72-07 おほえつれおほえはへれ大 おほゆれ国

穂 おほえれ麥阿

14 72-08 なき給も ないたまふ大保國穂 なきたまふ保

國穂

14 72-08 ふるめい給 ヲふるめいたまへる大西言る

めいふるめき西「ものふるめき給へる保 ぶ

るめきたる國穂

14 72-08 なみたもろさにや なみたもろに国

14 72-08 こゑ「こゑは保

14 72-08 おもしろつて おもしろくて大保言穂をもし

ろく西国

14 72-09 うたふ つたひたまふ大

14 72-09 さかしら心つきて さかしう心つきて大 さか

しく保

14 72-09 うちすくしたる うちすんしたる西国言麥す

くしたる保 うちすしたる麥 打すくしたる阿

14 72-10 侍従はしつ大國穂

14 72-10 にたてまつり給へるにや「に」たてまつる

にや国

14 72-11 かやうのかうやうの大

14 72-11 かたはことに西

14 72-11 さかつきをのみさかつきはかり西

14 72-11 ことふきことなき阿

14 72-12 竹かはを たけかは西保

14 72-12 こゑ心大

14 72-12 またナシ麥阿

14 72-12 わかけれと わかけれとはヲ削ッテとヲ書ク

カ「国」わかけれは言

14 72-12 おかしういとおかしう言

14 72-13 すのうちみすのうち大保国言麥阿穂みす 御

す国「

14 72-13 かはらけかわら西

14 72-13 ゑひのゑひ大西保國麥阿穂

14 72-13 すすみてはすきては西「す」みて國穂

14 72-13 てはしのふる事も 14 73-10 み給へとおほし

うかな「一丁分言表紙本ヲ以テ補写」天

14 72-13 しのふる事も しのふる事も 国 忍ぶ事も 麥

阿

14 72-13 つまれすしのはれす保

14 72-14 するナシ国

14 72-14 わさとわさ事麥 わさ阿穂 はさ穂

14 72-14 侍れはんへれ西 侍れは麥阿

14 72-14 いかにもてなひ給そと いかにもてなひ給そ

と西保國穂 いかておもなひ給そと麥阿

14 72-14 とみに「ト」みにも保國麥阿穂

14 73-01 こうちきこきうちき穂

14 73-01 かさなりたるほそなかの かさねたる御そに

国 かさねたるほそなか穂

14 73-01 人かか保かつかいと國穂ナシ言

14 73-01 なつかしうなつかしく西言

14 73-01 とりあへたるまゝに とりあつめたるに西と

りあつめたるさまにて国 とりあえたるさま

にて穂

14 73-02 かつけ給なにそもそなど みなきもを西

14 73-02 なにそもそなど なにそもと国 なにそもそなど

そ麥阿 なにそもそと穂

14 73-02 さうときてさつとさうときて穂

14 73-02 侍従はナシ国 侍従の麥阿

14 73-02 あるしの君あるしの侍従のきみ保

14 73-02 うちかつけてうちかけて保國言

14 73-03 みつむまやにてか「みつ」んまやにて西み

つさやにて国

14 73-03 夜よ西保

14 73-03 にけにけりナシ西

14 73-03 少将は 中将は西 少将国 ナシ穂

14 73-03 この ナシ西麥阿

14 73-04 源侍従の君の源ししうの君西 源侍従国源

侍従君の麥阿 侍従の穂

14 73-04 かうナシ西國穂 かく保

14 73-04 ほのめきよるめれは ほのめきよれは西国

穂 ほのめきたるめれは言

14 73 04 みな人 みる人保  
 14 73 04 これにこそ かれにこそ西保国穂  
 14 73 04 心 心を国  
 14 73 04 たまふらめ 給め西 給らめと麦阿 給はめ穂  
 14 73 05 いとゝいと国 ナシ穂  
 14 73 05 くむしいたくくしたう西保国くしたく  
 保くむしたく国くしいたく麦 いたく阿く  
 むし給て穂  
 14 73 05 思よりはりて おもひかゝりて西  
 14 73 05 あちきなうそ あちきなくそ保国言穂  
 14 73 05 うらむる づらむ国とゝむる阿  
 14 73 06 人はみな花に心を みな人は花に心そ麦  
 阿  
 14 73 06 ひとりそまとぶ ひとりそまよふ西言  
 14 73 06 うちなきてとてうちなきて保うちなき  
 て麦阿  
 14 73 07 うちの人のうちのひと保阿 うちの国穂  
 14 73 07 かへし返事言  
 14 73 08 うつりしもせし かつりしもせず西 かつりも  
 せま本まゝト傍記「国」かつりしもおし言つ  
 らみしもせし穂  
 14 73 08 あしたにしたに西  
 14 73 09 四位の侍従の 四位侍従のきみ保 四位侍従の  
 麦阿穂  
 14 73 09 もとより 御もとより保  
 14 73 09 あるしの侍従の あるしの麦阿  
 14 73 09 もとにもとへ穂

14 73 09 夜部はよるへは阿  
 14 73 10 人々いかにいかに人ノ国穂 人々いかにと  
 麦阿  
 14 73 10 み給けん とみ給けんこと 麦ハニアルカ「国  
 麦 見給けん穂  
 14 73 10 み給へとみたまひへとつヲ削ッテヘヲ書ク  
 カ「西 み給へはと麦阿  
 14 73 10 おほしう ナシ西 おほしくて保 おほして  
 国 おほく麦阿 おほしく穂  
 14 73 10 かなかちに かなかちに国穂  
 14 73 10 かきて かきてはしに大保国言麦阿穂 かくは  
 しに西  
 14 73 11 一ふしに 一ことに言  
 14 73 11 ふかき心の ふかきころぬにヲ削ッテのヲ  
 書クカ「保  
 14 73 11 そこはしりきや そこはくみきや大西保国  
 穂  
 14 73 11 かきたりあり保  
 14 73 11 しむ殿にし殿に国  
 14 73 12 もてまいりて もてまいりて麦  
 14 73 12 これかれこれ国穂  
 14 73 12 みたまふ みたまへて大 みたて西保 みたま  
 づて保 み給へ国穂  
 14 73 12 てなとも「テ」などの大保言てなどの  
 穂  
 14 73 12 おかしうも をかしう西 をかしくも保言麦阿  
 穂  
 14 73 13 人 人の国穂  
 14 73 13 いまよりまより西 ナシ国穂

14 73 13 かくかう大  
 14 73 13 とゝのひたらむとゝのひたるらん言  
 14 73 13 はゝ宮のはゝ宮も麦阿  
 14 73 14 しとけなうしとけなく西保国穂  
 14 73 14 おほしたてたまへれとおほしたてまつれと  
 穂  
 14 73 14 人には人よりは大保国穂 人に西麦阿  
 14 73 14 こそはこそ大國麦阿穂  
 14 73 14 あめれあむれ言  
 14 73 14 かの君はかむの殿は西 内侍督の君は  
 言 かの君麦阿  
 14 74 01 この 御子の麦阿  
 14 74 01 君たちの きんたちの保きみの穂  
 14 74 01 てなとての西保てなとの国穂てなとをの  
 言  
 14 74 01 あしきあやしき大 わろき穂  
 14 74 01 こと ナシ大西保国穂  
 14 74 01 給返事けにたま けにけに八推読可能  
 八ふト思ワレルガ「返事」ハナイカ大  
 14 74 01 わかくことはりに大 ぶかく西 わかくかく  
 保国穂  
 14 74 01 夜部は ナシ西  
 14 74 02 みつむまや みつんまや西  
 14 74 02 とかめ 人ノとかめ大西保国穂  
 14 74 03 夜をふかさしといそきしも 夜はふるさしと  
 いそきしを国  
 14 74 03 いかなるふしをいかなるふしに西国穂  
 14 74 03 おもひをかまし おもひをはまし国  
 14 74 04 ふしを ぶえお西

14 74 04 はしめてははしめて大  
 14 74 04 御さうしにさうしに国穂 御さうし阿  
 14 74 04 おはしておはしつゝ大保  
 14 74 04 けしきはみよる けしきはみよる麦  
 14 74 04 少将の少将大  
 14 74 04 おしはかりしもをしはかりも国言麦阿  
 穂  
 14 74 05 みな人みな人ノ上カラなヲ書ク大 皆人  
 ノ、麦阿  
 14 74 05 心 心を麦阿  
 14 74 05 侍従の君もし(侍)従の君も国侍従君も麦  
 阿  
 14 74 05 わかき わかい大  
 14 74 05 ゆかりにてあたりにて大国穂  
 14 74 06 むつひまほしうんつひまほしく西保国麦阿  
 穂(んつひむつひ保国麦阿穂)むつましく  
 言  
 14 74 06 思ひけり思けりこのわたりにしありく国覚  
 (思)けりこのわたりにし有て穂  
 14 74 06 さくさくらさくさくら西  
 14 74 06 あれはあはれははノ上カラあヲ書ク大  
 14 74 06 ちりかひくもりちり ひは(く)もり大ち  
 りかひくもりたり国ちりかひくもゝたる穂  
 14 74 07 さかりなるさかり 大  
 14 74 07 こころ 心大保  
 14 74 07 のとやかにのとかに西保  
 14 74 07 所 比言  
 14 74 07 まきるゝことなくまきるゝなぞ言

14 74 08 あるましかめりあるましかめる麦阿  
 14 74 08 そのころそのほと大国穂 ナシ西 そのころ  
 「こゝろノヲ削ルカ」保  
 14 74 08 十八九のほとや 十八九十七はかりにて保十  
 七八はかりのほとや国 十八九のほとにや麦  
 阿 十七八はかりや穂  
 14 74 08 おはしけむ ナシ保国  
 14 74 08 御かたちも 御かたち西保  
 14 74 08 心はへも 心はへ西 心覚(はえ)も麦  
 14 74 09 とりノにそとりノになん大とりノに  
 西国穂  
 14 74 09 おかしきひめ君をかしうおほひめきみ  
 大  
 14 74 09 あさやかにあてやかに西  
 14 74 09 けたかうけたかく西国麦阿穂いとけたかう  
 言  
 14 74 10 し給てしたまひて大したまうて保  
 14 74 10 けにナシ西  
 14 74 10 たゝ人にてたゝ人に国穂  
 14 74 10 みたてまつらむはみせたてまつらんは大国  
 穂 みたてまつらんには保 みたてまつらは  
 言  
 14 74 10 けけなうそにけなくそ西保ほいなくそ  
 国にけなく穂  
 14 74 11 などの 大西言穂 なう国  
 14 74 11 色あひの いろあひ西国穂  
 14 74 11 ほとに ナシ西 ほとも穂  
 14 74 11 かさなりたる かき(さ)なりたる麦  
 14 74 11 あひきやつの あいきやつ西言麦阿 あいきや

うぬ そノ上カラいヲ書ク「穂  
 14 74 12 こほれおちたるこほれをつる保こほれたる  
 穂  
 14 74 12 みゆる みゆるを大西国穂  
 14 74 12 御もてなしなとももてなしなとん大保国穂  
 「なとん なとも保国穂」ナシ西 御もてな  
 したとも阿  
 14 74 12 らうノしくりやうノしく西穂 らうノ  
 しう国りやうノしう穂  
 14 74 12 心はつかしき心うつくしき大西保 うつくし  
 き国穂  
 14 74 13 けさへ けはいさへ保 けはひ麦阿  
 14 74 13 そひたまへりし給へり麦阿  
 14 74 13 さくら色にて 御くし大 御くしいろにて西国  
 言穂 御(さく)し(ら)いろにて保  
 14 74 13 やなきのいと やなきのいとことノ上カラい  
 とヲ書クカ「西  
 14 74 14 やうに やうにて保国言  
 14 74 14 たゆみ みゆ大西保国麦阿穂 みゆる言  
 14 74 14 そひやかにほそやかに大ひそやかに  
 言  
 14 74 14 なまめかしう なまめかしく西国  
 14 74 14 すみたる おさノとすみたる西  
 14 74 14 おもりにおほとかに保  
 14 75 01 心ぶかき 心にくき保国穂 いぶかき阿  
 14 75 01 けはひはまさり けはまさり大 けはひまさり  
 西保 さまし国穂  
 14 75 01 給へれと 給へれう国

14 75 01 けはひはこよなし けはひはこよなうなし  
 大 けはこよなし西穂 かたはこのきみはこよ  
 なし保 かたはこよなし麦阿  
 14 75 01 とそと国言穂  
 14 75 02 人 人は保 ナシ麦阿  
 14 75 02 おもへる おもひける大 思えり国穂  
 14 75 02 五うちたまふとて 五うちたまふと大 たちた  
 まふとて西 ころち給てとて言 ころち給て麦  
 阿  
 14 75 02 かむさし御くし ひとひ西  
 14 75 02 かかりたる かりれる大 国穂 かりたまへる  
 西  
 14 75 02 さまともさま大 国穂 御さまとも保  
 14 75 03 ありありて大 おほかり保  
 14 75 03 侍従のきみ 侍従の君の 国穂 侍従君麦  
 阿  
 14 75 03 けんそけそつ大 けんそつ保 けんう言  
 14 75 03 ちかうちかく西 保 国穂  
 14 75 03 さふらひ ふうらひ大  
 14 75 03 給に 給言  
 14 75 03 あに君たち あにの君立 麦阿  
 14 75 04 さしのそき給て さしのきたまひて大 さしの  
 そきて西 さしのそきたまうて保  
 14 75 04 おほえおほえに西  
 14 75 04 こよなうこよなく西 保 国言穂  
 14 75 04 なりにけりなり侍にけり保 なりにたり  
 言  
 14 75 04 御五 御宮 国  
 14 75 04 けんそけそつ大 けんそつ保 けんそにも

14 75 04 ゆるされにけるをや ゆるされにけりや大 ゆ  
 るされはへりにけるをや保 ゆるされけるを  
 国 見そも穂  
 14 75 05 とてと国  
 14 75 05 おとなしき おとなしき大 をさなし  
 しきさ力穂  
 14 75 05 つるめつめい(麦)  
 14 75 05 給へはたまへれば大 西 国言穂  
 14 75 05 おまへなる 御まへなる西 国言穂  
 14 75 05 人々 人大 国穂  
 14 75 05 とかうとかく西 保 国言穂  
 14 75 05 ゐなをる ゐなをるを西  
 14 75 06 中将 中将の 国 八の二 削訂 国穂  
 14 75 06 宮仕のみやつかへの大 みやつかひの  
 西  
 14 75 06 いそかしういそかしき保 いそかしく 国言  
 麦 いそかはしく阿  
 14 75 06 なり侍ほとにほとに保  
 14 75 06 人にもひとに大 ナシ 国穂 人に麦  
 14 75 06 をとりたるはおとりにたるをは西 をとり  
 たるは 国言穂  
 14 75 06 いとナシ 阿  
 14 75 06 わさかな わさなり保  
 14 75 07 給へは 給へれば西  
 14 75 07 弁官は 西 弁官 国穂  
 14 75 07 まいてまして大 保 国穂  
 14 75 07 わたくしの宮つかへ わるくこのみやつかへ  
 西

14 75 07 まくに 大  
 14 75 08 申給のたまふ大 保 国穂  
 14 75 08 うちさしてうちやみて 国  
 14 75 08 はちらひておはせつする はちらひおはする  
 西 はちらひてをはする保 はちらひてを  
 はするさまとも 国 はちらひ給へる言 はちら  
 ひおはさうするさまとも穂  
 14 75 08 いたおかしけなり いたをかしけにみゆ保 いたを  
 とをしけなり穂  
 14 75 09 内わたり 内わたり 麦  
 14 75 09 ありきてもありきてん 大  
 14 75 09 ことの大 殿 大 国穂 二 殿 西  
 14 75 09 おはしまさましかはをはせましかは保  
 14 75 09 思たまへらるることおほくこそなと 涙 くり  
 て ナシ 阿  
 14 75 09 思たまへらる 思たまへしらる 大 おも  
 ひ給つる西 思たまふる保 おもひしらる 国  
 穂 思ひ給へらる 言 ナシ 阿  
 14 75 10 こそなとこそと 国穂  
 14 75 11 いとよくいとよつ大 言 いたう保 よく 麦  
 阿  
 14 75 11 とのひてすくしていかて大 穂 すくして西  
 保 すくして 国  
 14 75 11 御ありさまともを 御さまとんを大 穂 とん  
 をともを穂 御有様ともを 麦  
 14 75 11 いかて ナシ 大 国穂  
 14 75 11 おほしをきてしにおほしをきしに 阿



14 75 12 たかへすもかなと たかへすもなと西 たかへ  
 きこえずもかなと言 たかはすもかなと麦 た  
 かはずもなと阿  
 14 75 12 おもひぬ給へり おもひ給へり西国 みたてま  
 つりぬたまへり保  
 14 75 12 おまへの 御まへの西国言麦阿 御前の  
 穂  
 14 75 12 木ともの中にも 木とんのなかにも大西(と  
 んとも西)ことに保  
 14 75 12 まさりて まさり保  
 14 75 13 おかしき おもしろく大 ナシ西 をもしろき  
 保国穂  
 14 75 13 さくらを さくを大を保 桜言  
 14 75 13 おらせてを させたまうて保国穂 たまうて 給  
 て国穂(おらて阿  
 14 75 13 ほかのには ほのかには阿  
 14 75 13 こそ ナシ大西  
 14 75 13 なとは へれなと保 あれと国穂  
 14 75 13 給を 給大保国言麦阿 ナシ穂  
 14 75 13 おさなく おさなう大  
 14 75 13 おはしまし おはしまさひし大保を はしま  
 さしひし保 おはしし言 おはせし麦阿  
 14 75 14 この花は このはなは 大 このはなを  
 西(このきは保 ナシ穂  
 14 75 14 わかそ 〃と われかそ 〃と大 我そ 〃と  
 西穂 我そ 〃と西 我も 〃と国 われ 〃  
 〃と言  
 14 75 14 ことのは 〃と 〃のは大  
 14 75 14 御はなそ 御大 はなそ西 御花保穂 ナシ

14 76 01 さため給 さためたまひ大西(ことはりたまひ  
 保  
 14 76 01 御木と 御と大と国穂  
 14 76 01 さため給しを あらそひたまひしを大 さため  
 給し西 さためたまふしを保 あらそひ給しを  
 国穂  
 14 76 01 さはなきの 〃しらねと さはなきとの 〃しら  
 ねと国言 さはきの 〃しらねと麦阿  
 14 76 02 思たまへられしは や 思たまへしはや大 国お  
 もひ給へられしに西 おもたまへられしはや  
 保 思ひ給へしはや国 思ひ給へられしはや  
 言 おもひ給へりしはや穂  
 14 76 02 とて ナシ大西保国穂  
 14 76 02 つけても つけて大保国穂  
 14 76 02 すきにける すきにし大  
 14 76 03 思たまへいづれば おもひたまへいづれば西  
 国言穂 思給いづれば麦阿  
 14 76 03 侍にける 侍ける言  
 14 76 03 づれへも づれへはも大  
 14 76 03 とめかたうとめかたく大言と 〃めかたく西  
 保国阿穂と 〃めかたう阿  
 14 76 04 こそなと 〃こそと西とて保そなと麦阿(こ  
 そなとも穂  
 14 76 04 給て 給うて大 たまふ保  
 14 76 04 れいよりは れいよりも大保国穂  
 14 76 04 のとやかに のとかに西保  
 14 76 04 おはす おはさうす保 おはする国穂  
 14 76 05 むこに むこなとに保 むこに 八補入力

14 76 05 なりて なりたまうて保穂 なりたまひて  
 穂  
 14 76 05 心しつかにも 〃〃のとかにも保  
 14 76 05 いまは ナシ国麦阿穂  
 14 76 05 給はぬを 給はぬに麦阿  
 14 76 05 花に けふは花に保国穂  
 14 76 05 心と 〃めて 心をと 〃めて大保国  
 14 76 05 ものし給とのいし給大(ものしたまふを保  
 穂物し給はん阿  
 14 76 05 かの君君阿  
 14 76 06 おとなしきをとな 〃しき保  
 14 76 06 おやに 御をやに大 国穂  
 14 76 06 なり給なりたまひ大保  
 14 76 06 ほと ほとを保  
 14 76 06 思よりはよりは大 国麦阿穂  
 14 76 06 いと ナシ国穂  
 14 76 06 わかうわかく西保国穂  
 14 76 06 きよけにおかしけに言穂  
 14 76 07 御かたちと御ほとに保  
 14 76 07 れせい院のみかとは れいせい院のみかとは  
 大 冷泉院のみかとは保言麦阿 れんせいの御  
 門は国 冷泉院の御心は穂  
 14 76 07 おほくは おほうは大西 おほえは国 おなし  
 くは麦阿  
 14 76 07 御ありさまの 御有様の麦  
 14 76 08 猶 ナシ大西国穂  
 14 76 08 ゆかしう ゆかしく保国言麦阿穂  
 14 76 08 むかし むかしそ西 ナシ保穂

14 76 | 08 恋しうこひしく西保麦阿ナシ穂  
14 76 | 08 おほしいてられければ思ひいてられければ

国穂

14 76 | 08 つけてかはつけてか保  
14 76 | 08 おほしめくらししておほしめくらしして大お

ほして保おもほしめくらしして国

14 76 | 09 御ことを御ことをも西御ことしも保御

事は穂

14 76 | 09 あなかちにあなかちにも西

14 76 | 10 君たちそきむたちそ大君たち穂

14 76 | 10 なをナシ国それも穂

14 76 | 10 ものゝはへなきはえなき西物のはつなき

言

14 76 | 10 こそナシ西国

14 76 | 10 すへけれすへければ国

14 76 | 10 つけたるつきたる大

14 76 | 11 世人もよの人も穂

14 76 | 11 ゆるすめれ心ゆるすめれ国穂

14 76 | 11 いとナシ麦阿

14 76 | 11 御ありさまは御さまは保御有さまにて国

穂御あり様は麦

14 76 | 11 この世よ大

14 76 | 12 おはしますめれとをはずめれと西麦阿

14 76 | 12 さかりならぬ心ちそするやナシ保

14 76 | 12 さかりならぬさかりなき大國穂さかならぬ

西

14 76 | 12 心ちそするや心ちするや言

14 76 | 12 ことふえの琴笛の麦阿

14 76 | 12 しらへ心はえ国穂

14 76 | 13 花とりの花とんの大

14 76 | 13 ねをもねと去と力「穂

14 76 | 13 時に時よに大國

14 76 | 13 みもとまるみも まる磨滅「大みも

とまる西みもにめにもとまる麦阿

14 76 | 13 物なれものなめれ大保ひとことなめれ

国ことなめれ穂

14 76 | 14 などと大國穂

14 76 | 14 人の人言

14 76 | 14 やうにてやうに国やうなれは言

14 77 | 01 のみものし給めれはこそナシ言

14 77 | 01 のみナシ西保

14 77 | 01 給めれはたまふめるを保

14 77 | 01 こそナシ保麦阿

14 77 | 01 ましらはむはましらはんも保ましはらんも

言ましらはん麦阿

14 77 | 01 むねいたくむねいたう大保

14 77 | 01 人わらへひとわらはれ西麦阿穂人はぬら

われ麦

14 77 | 01 こともやあらむとこともやと大事やと国

穂事やあらんとのみ麦阿

14 77 | 02 つましければつましけれと大つまし

くなん国穂

14 77 | 02 おはせましかはおはせぬましかは阿

14 77 | 02 御すくせは御すくせは大保国言麦阿御

すせは穂

14 77 | 03 たゝいまはたゝいま国穂

14 77 | 03 さまにやうに大やうにて国穂

14 77 | 03 もてなしもてなしきこえ保

14 77 | 03 給てましをたまつてまし大西たまひてまし

西たまつてましを保給はましを言

14 77 | 03 みなナシ麦阿

14 77 | 04 たちたまひてたちたまつて保

14 77 | 04 君たちはきんたちは大

14 77 | 04 たまへるたまつてる大

14 77 | 04 うち給むかしよりあらそひ給さくらをかけ物

にてナシ国

14 77 | 04 うち給うち給へる保

14 77 | 04 むかしよりむかしとり阿

14 77 | 05 かけ物のりもの大西保かけ物物ミセケチ

同筆力言

14 77 | 05 かすかすか穂

14 77 | 05 かたには猶花をかたにははなを大かたには

なを西言麦阿かたには猶保かたにはなは国

穂方に花を言麦阿

14 77 | 06 よせてんとよせてんなと西よせてと国

穂よせんと麦阿

14 77 | 06 かはしかはし穂

14 77 | 06 きこえ給たまつて大保国穂給て国穂

14 77 | 06 くらうくらく国

14 77 | 06 はしちかうてはしちかくて国穂

14 77 | 06 うちはてたまふうちはて給つ大うちたまふ

西打出給麦阿

14 77 | 07 みないとみいとみ大いと国穂みな見言

14 77 | 07 ねんしはんし麦阿

14 77 | 07 きこゆおりしもきこゆるをりしも大き

こゆをりしも保

14 77-07 少将 中将の君西 少将君保  
 14 77-07 侍従の君の 侍従君の 国麦阿 侍従の君  
 言  
 14 77-08 きたりけるを はしたりける保  
 14 77-08 いて給にければ 出にければ麦阿  
 14 77-08 人すくなゝるに 人すくなゝるに西  
 14 77-09 らうのとの かうのとの 西か(ら)うのとの  
 保内のとの 麦阿(ら)うのと穂  
 14 77-09 あきたるに あきたるより保  
 14 77-09 やをらよりて やをら保 やはらよりて言  
 14 77-09 のそきけりの そくに西  
 14 77-09 かう かく西保国穂  
 14 77-09 おりを おり国穂 折に言  
 14 77-09 みつけたるは みつけたる国穂  
 14 77-10 などの なんと穂  
 14 77-10 まいりあひたらむ めくりあひたる国穂 まい  
 りあひたる 麦阿 まいりあひたる 麦  
 14 77-10 心ち 心ちも 麦 心ち阿  
 14 77-10 はかなき心になん はかなしや保 はかなき心  
 ちになん 言穂  
 14 77-11 まぎれば まぎれ西  
 14 77-11 さやかならねと いとさやかならねと西 さは  
 やかならねと 保  
 14 77-11 つくゝとみれば さくらいろの あやめもそれ  
 とナシ 国  
 14 77-11 さくらいろの さくらいろの 大さくら色  
 麦  
 14 77-12 それとけに それと保

14 77-12 みわきつけに みわきかたくけに 大みわき  
 つけに 麦 みわきつけて穂  
 14 77-12 みまほしく みつへき 大 国穂 いとみまほしく  
 保 みまほしう 言 見まくほしく阿  
 14 77-12 にほひおほく みえ給を にほひし給を 国  
 穂  
 14 77-13 いとゝいと 麦阿  
 14 77-13 なり給なん なりたまはん 西言 みなさん  
 保 なりなん 麦阿  
 14 77-13 わひしく わひしう 大穂 わひこそ 国  
 14 77-13 思ひまさる おもひまさる 大保 国言 麦阿  
 穂 思まとはる 西  
 14 77-14 人々の 人ゝ穂  
 14 77-14 うちとけたる うちとけたる 大うちとけ 国  
 穂  
 14 77-14 すかたとも すかたとも 大保 国穂 スカタ  
 トモ 西  
 14 77-14 ゆふはへ ゆふはれ(え) 大ゆふかけ 国穂  
 14 77-14 おかしう おかしく 西保言  
 14 77-14 右 右の 麦阿  
 14 77-14 かたせ うたせ 阿  
 14 77-14 こまのらさう こまのかく 大穂 こまのくさう  
 西 こまのらさう 保 麦阿 こまのて 国  
 まのらんじやう 言  
 14 78-01 をそしや おそろしや 西 麦 おもしろや 国  
 穂 おうしや 言  
 14 78-01 はやりかに さはやき 大 国 ナシ 穂  
 14 78-01 ありなり 麦

14 78-01 心をよせ 心よせ 穂  
 14 78-01 にしのおまへに にしの御まへに 西言 穂 こな  
 たの御まへに 国 にしのとこゝろに 麦阿  
 14 78-02 侍木を 侍には 国 はへるに 穂  
 14 78-02 左になして 左かたに 大 左かたにて 西 左か  
 たになして 国穂(左 左の穂)  
 14 78-02 としころの としころ 大 国穂  
 14 78-02 御あらしひの 御あらしひぬ そひう 削ッテそ  
 ひう 書ク「麦  
 14 78-02 かゝれば 左るんに 保 国 ろんに 穂  
 14 78-02 ありつる そあしかりつる そ大 あるそ 西 侍  
 へるそ へハフトモヨメル「保 侍りつる そ 国  
 穂 あるへきそ 麦阿  
 14 78-02 かしと かしなと 大保 国穂  
 14 78-03 右かたは 右かたには 大 右のかた 保 右かた  
 に 国 右のかたは 言 麦阿  
 14 78-03 心地よけに 心よけに 言  
 14 78-03 なにこゝろ なにこゝろ は 大保 国穂  
 14 78-03 さしいらへも さしいても 大 国 さしらへも  
 西  
 14 78-04 給へる たまへるを 大 たまへらん 西  
 14 78-04 おり ナシ 大 おりを 西 とち 麦阿  
 14 78-04 心ちなくや は 心なくや は 大 するならんや は  
 西 心なくや 国 麦阿 穂 心ちなくや 言  
 14 78-04 と 思ひて とて 国穂 と おもひ 麦阿  
 14 78-04 いてゝ あぬ いてぬ 大保 国穂  
 14 78-05 又 ナシ 阿  
 14 78-05 まぎれもやと まぎれものやと 大 まぎれもや  
 とそ 保

14 78 05 そひてそ つきてそ 大國穂 そひて西 つきて

保そひたるそ言

14 78 05 ありきける ありきけり西 ける國穂

14 78 05 君たちは きみたち大 きむたちは西言

14 78 05 あらそひをしつゝ あらそひをして大保 あら

そひし國 あらそひにて穂

14 78 06 あかしくらし あかしくらしさせ麦阿

14 78 06 給に 給西

14 78 06 風 またかせの大 かせの穂

14 78 06 吹たる ふきゝて西

14 78 06 ゆふつかた ひるつかた大保國穂 ゆふかた

西

14 78 06 みたれおつるか みたりおつるか西 みたれを

つるさまの保

14 78 07 いとくちおしう あたらしければいとくちをし

う あたらしけなれば大 あたらしうくちをしき

に保 いとくちをしく あたらしければ國

14 78 07 ひめ君 ひめ姫麦

14 78 08 おもひくまなき おもふくまなき言 思くまな

き麦阿

14 78 08 花とみる 〳はなとしる 〳穂

14 78 08 御かたの おほかたの 磨滅三二判読難西 御

かた人の保國 御方の人穂

14 78 08 宰相のきみ 宰相公保國麦阿穂 宰相君國麦阿

穂

14 78 10 花なれば 花なれと穂

14 78 10 まくるをふかき まくるにふかき大西保穂 ま

つかにふかき國 まくるを書人同筆力言

14 78 10 うらみとませす うらみしもませす大 うらみと

もせん國

14 78 10 きこえたすくれは きこえたすこれは西 きこ

えさすれば穂

14 78 11 右のひめ君 大ひめ君穂

14 78 12 ことはよのつね ことはよの ね大

14 78 12 うつろふ花を うつろふ花は麦阿

14 78 12 この御かたの大輔のきみ 御かたの大納言き

み大

14 78 13 大輔のきみ たゆふの君麦阿

14 79 01 ありきて ありく國 ありて穂

14 79 01 ちりたるをいと おほく ナシ麦阿

14 79 01 おほく おほふ言

14 79 01 ひろいて ひろひあつめて保

14 79 02 大空の おほかたの麦阿 おほかたそらいの

阿

14 79 02 風にちれとも かせにちるとも大

14 79 02 左の 左國 二割訂有西國 右の言麦

14 79 03 袖はありやは そてもありやは西 袖はありや

と言 袖也は ありやは麦

14 79 03 心せはけに 心せはさはけに大 心はせけに

西

14 79 04 なとと麦阿

14 79 04 かくいふに かくいふほどに大西保國穂 かく

う かく西保國穂 いく かくいひつ

〳麦阿

14 79 04 月日は なくなすすも はかなつ月日すくし

たまふも大 はかなくて月日すくしたまふ保

國穂 はかなくて はかなく穂

14 79 04 ゆくす糸の ゆくすへ大西國言麦阿穂

14 79 04 うしろめたき うしろめたさ保

14 79 05 かの殿は かのきみ大國穂 かのきみは

西麦阿

14 79 05 おほす おもほす大西

14 79 05 よりは より大西保

14 79 05 御せうそく 御せせう 〳磨滅、その上カラ

せう書キ、サラニ傍記天女御の御ふみ保女

御の御せうそく國穂 せうそく せうそく穂

14 79 05 日々に ナシ保

14 79 05 女御 ナシ保國穂

14 79 05 うとうとしう うと 〳しく西保國言麦穂 こ

と 〳しく阿

14 79 06 おほしへ たつるにや おもほしへ たつるに

や西へ たつる國 おほしへ たつるにや

と麦 おほしつたへるにやと阿へ たつる

穂

14 79 06 こゝに ことに言

14 79 06 きこえうとむる きこえうとむる大 聞え

つとめる阿

14 79 06 なめりにや西 なんめり言

14 79 06 いとにけに ナシ西 いとにけけるまで

保 いひにけに麦阿

14 79 07 おほしの 給へはおもほしのためへは大

14 79 07 たはふれにも たはふれにく 大保國穂

14 79 07 くるしうい とくるしう西 くるしく保國

穂

14 79 07 おなしくは おなしうは西保

14 79 08 いとまめやかに まめやかに大保國言穂

14 79 08 きこえ給きこえたまふ大そのかしきこ  
 えたまへは保  
 14 79 08 こそはこそ西保こそと国こそさ穂  
 14 79 08 おはすらめおはしますらめ西おはすらめ国  
 穂おはずめ阿  
 14 79 08 いとかうかう大國穂いとかく西保かく  
 国  
 14 79 08 あやにくにナシ西  
 14 79 09 の給もたまへはするも保  
 14 79 09 かたしけなしなとかたしけなしと大西保国  
 麦阿  
 14 79 09 おほしたりおほしたちたり大おほしたちに  
 たり保おほしたつ國穂おほしおもほし穂  
 おほしたる言  
 14 79 09 御てうと御てうつ言  
 14 79 09 そこらナシ言  
 14 79 09 しをかせ給へればしをきたまへれば大しを  
 へかせたまへれば保しをかれたれば穂  
 14 79 10 さつそくさつそく大御さつそく國穂  
 14 79 10 はかなきナシ國穂  
 14 79 10 事をそ事を也そ西事を國麦阿穂  
 14 79 10 いそきいそかせ國穂  
 14 79 10 きくにきくて保  
 14 79 10 蔵人の少将はくら人の少将大保國穂蔵人少  
 將は麦阿  
 14 79 11 しぬはかりしぬはかりに保しらぬはかり  
 阿  
 14 79 11 思ひて思ひなきて穂  
 14 79 11 はきたの方をきたのかたを國穂

14 79 11 たてまつればたてまつりたまへは西  
 14 79 11 きわつらひきわつらひ西保きわつら  
 らひ保  
 14 79 11 給ひてたまひつかく保  
 14 79 12 つけてつけつ西保  
 14 79 12 きこゆるもきこゆるにも西  
 14 79 12 よにナシ國穂  
 14 79 12 かたくなしきかたくなしき麦かたくるし  
 き穂  
 14 79 12 まとひにまよひに麦阿穂  
 14 79 13 おほししるおほしはしる保  
 14 79 13 なくさめさせなくさめ大  
 14 79 13 いとおしけにいとをしけに保  
 14 79 14 きこえ給をきこえ給保きこえたまふをきこ  
 えたまふを穂  
 14 79 14 くるしうも心くるしくも大國穂  
 14 79 14 うちなけきたまひてうちなけいたまつて  
 保うちなけきたまふを穂  
 14 79 14 いかなるいかなる西  
 14 79 14 事とこと大國事もとも保  
 14 79 14 思たまへさたむ思給さたむ西麦阿おもひ給  
 へそむ國穂思ひ給へさたむ言  
 14 80 01 へきやうもへきにやうも大へきやうにも  
 言  
 14 80 01 わりなくいとわりなく大西保國穂  
 14 80 01 おもふたまへみたれてなん思たまひみたれ  
 てなん西思たまへみたれてなん保麦阿お  
 もひ給へみたれてなん國穂思ひみたれなん  
 言

14 80 02 程をほと大國穂ほとは保  
 14 80 02 おほしつめてなくさめおほしのとめて國  
 穂  
 14 80 02 さまをもかたを保さまを言麦阿穂  
 14 80 03 み給てみたまはる大保み給へて西み給へ  
 國見たまへん穂  
 14 80 03 なんなと國穂  
 14 80 03 世のきこえもなたらかならむなとナシ  
 穂  
 14 80 03 きこえもきこえをも西  
 14 80 03 なたらかならむなたらかならむ西なたら  
 かなは侍へき保なたらかに言  
 14 80 03 申給もきこえ給も保まつし給をも國  
 14 80 03 御まいりまいり阿  
 14 80 03 すくしてすくして西言麦阿  
 14 80 04 中の君をと中君をと國麦中宮をと阿中の  
 君を穂  
 14 80 04 なるへしなりけり大國穂  
 14 80 04 さしあはせてはさしあはせて國麦阿穂  
 14 80 04 うたてしたりかほならむしたりかほならむ  
 大阿けしきしたりかほにならむ國穂かほ  
 にかほ穂  
 14 80 04 またナシ西保  
 14 80 05 なともなと大なと國穂  
 14 80 05 あさへたるいとあさへたる大穂いとあさく  
 たるく二本まゝ傍記國あさくたる書入  
 同筆力言  
 14 80 05 程ほとなる保  
 14 80 05 おほすにおもほすに穂

14 80 05 おとこはなとこは国  
 14 80 05 さらにしかささらに大國穂しさらし西し  
 保  
 14 80 05 思ひつるへくも思つるへきみにも西思  
 ひつるへうも保言  
 14 80 06 ほのかにほのか穂  
 14 80 06 みたてまつりてみ奉りし麦阿  
 14 80 06 おもかけにおもかけ西麦阿  
 14 80 06 恋しうこひしく保國言麦阿  
 14 80 06 おりにおりにか言  
 14 80 07 おほゆるにおもほゆるに大  
 14 80 07 かつかく大西國穂ナシ言  
 14 80 07 たのみかゝらすナシ大國穂たのもしからす  
 西麦阿かつらす言  
 14 80 07 なりぬるをなりぬるに言なりぬることを  
 穂  
 14 80 07 思ひなけき給事思なけき給こと麦  
 14 80 08 事もことなとも大事をも言  
 14 80 08 いはむとていはむと思て大保いはんと思  
 ひて國穂  
 14 80 08 きたれはいきたれは保國穂  
 14 80 08 源侍従しう大  
 14 80 08 ふみをそふ(ふみ)をそ西  
 14 80 08 み給へりけるみたりける大國穂みあた  
 まへる西みたまつける保み給ける言み  
 給へりける麦阿  
 14 80 09 さなめりさるめり国さなんめり言麦阿  
 14 80 09 みてナシ麦阿

14 80 09 うはひとりつむはひとりつ大はひとりつ西  
 保いはひとりつ西はいひとりて國穂  
 14 80 09 ことありかほにやと思ひていたうもかくさ  
 すナシ保  
 14 80 09 ことありかほにやとこのありかほとに  
 やと大ことありかほにもやと國穂ことあり  
 かほに言  
 14 80 09 いたうもいたくも西國  
 14 80 10 そこはかとなくだとそこはかともなくた  
 大そこはかとなく西たとそこはかとなく  
 保そこはなくてはなきてた言  
 14 80 10 世をうらめしけによをうらみけに大ナシ  
 保うらめしけに穂  
 14 80 11 すぐる月日をすすすひかすを大西すすす月  
 日を保すする日かすを國  
 14 80 11 かそへつとすくしつと國  
 14 80 11 物うらめしき物うらめしく言  
 14 80 11 くれの春かなくれのはるかな西春のくれか  
 な國穂くると春かな言  
 14 80 11 人はかう人はかく西國穂人から麦阿  
 14 80 12 のとやかにナシ穂  
 14 80 12 さまよくねたけなめれさまりうねようね  
 たけなめれ大  
 14 80 12 さまよくナシ保  
 14 80 12 ねたけなめれいたけなめれ西ねたけなれ  
 保ねたけなめれ言  
 14 80 12 わか我大西保國我われ保われは麦阿わ  
 れ穂  
 14 80 12 人わらはれなる人わろい大國穂ひとわろく

なる西ひとわかき保人わろき國穂人わら  
 へなる麦阿  
 14 80 12 心いられを心いく(ら)れを大  
 14 80 12 かたへはかたへ西  
 14 80 13 めなれてきとめなれて保  
 14 80 13 あなつりそめられにたるなどあなつられそ  
 められにたるを大あなつらわれにたるもと  
 西あなつりそめられにたるそかしと保あな  
 つられにたるを國あなつりそめられたると  
 言あなつりそめられにけると麦阿あなつら  
 れたるを穂  
 14 80 13 思ふもおもひ(ふ)も大  
 14 80 13 いたければいたけなれは西  
 14 80 13 物も物國  
 14 80 13 いはれていはて大西保國  
 14 80 14 れいかたらぶれいのかたらぶ大保れいのか  
 (か)たらぶ大  
 14 80 14 中將のおもと中將の君西  
 14 80 14 さうしのさ(さ)つしめ御ノ上カラさ書キ、  
 サラ二傍記「大ナシ麦阿  
 14 80 14 かたにかたへ西保國言穂  
 14 80 14 ゆくもいくも保いても穂  
 14 81 01 なけきかちなりなけきかきりなし西  
 14 81 01 侍従の君はしうは大國侍従君麦阿侍従  
 穂  
 14 81 01 この返事このかへりことを大返事國此返  
 し麦阿  
 14 81 01 せむいはん國穂  
 14 81 01 給を給も保たまを穂

14 81 01 みるにみるに西見るも麦阿  
 14 81 01 いとナシ言  
 14 81 01 はらたうしうはらたうしく大西国言麦  
 阿  
 14 81 02 わかきわか大穂  
 14 81 02 心ちには心には大西  
 14 81 02 ひとへに物そ心ひとつにそもの西ひとつに  
 もの穂  
 14 81 02 あさましきさまあしき大  
 14 81 03 うらみなけはうらみなけは大うらみなけ  
 くは西  
 14 81 03 このまへ申もこの人しも大この人も西こ  
 のまへしも言このみ申も穂  
 14 81 03 余あさり言  
 14 81 03 いとおしといとをしう保  
 14 81 03 いらへもいらへも大御いらへも保いて  
 毛国  
 14 81 03 おさおさナシ大いよノノ上カラヨ  
 書クカ西  
 14 81 04 かのこの大  
 14 81 04 けんそけそう大けんそう保けんせう  
 穂  
 14 81 04 こともことん大  
 14 81 04 いひいていひいて阿  
 14 81 04 さはかりのナシ穂  
 14 81 05 またナシ大言麦阿穂  
 14 81 05 しかあはれなにをたのみにてナシ穂  
 14 81 05 たのみにてたのみて保国  
 14 81 05 かうナシ大かく西国穂

14 81 05 こともことん大ことん力保も  
 言  
 14 81 06 すくなうすくなく大西国穂すくなくこそ  
 保  
 14 81 06 おほゆれはおもほゆれは大穂  
 14 81 06 つらきもいつくも西  
 14 81 06 事こそことの西  
 14 81 06 なりけれとなりけれなと大なりけれ西  
 穂  
 14 81 06 いとナシ国言穂  
 14 81 06 まめたちてまめたち大  
 14 81 07 いふナシ大麦  
 14 81 07 あはれとあはれにいか大あはれに西あ  
 はれいかに保国穂哀とて言麦阿  
 14 81 07 いひやるへきいふへき穂  
 14 81 07 かたなきことなりことなり大ことならむ西  
 国穂事もなき事也保  
 14 81 07 かのこの西  
 14 81 07 給らんたまはん大保言たまひたらん西給  
 はんに国穂  
 14 81 07 御さまさまに大さま西さまも保ナシ国  
 穂御さまを言  
 14 81 08 へきナシ大保国穂  
 14 81 08 けしきもけしきにも大西国穂  
 14 81 08 けんそうなりけんにけそうなりけるに大け  
 そうなりけんに西保けんそなりけんに国  
 言けんそなりけんと麦阿けんそけんそう  
 阿  
 14 81 09 いとかういとかう大西保国言穂いとかく

西保国穂 イトカク西  
 14 81 09 そひたるそひにたる大  
 14 81 09 ならんとなめりと保ならひと言  
 14 81 09 ことはりにことわりにも大  
 14 81 09 思ひておほえ工国ノえハシ力国穂  
 14 81 09 きこしめさせたらはきしかたならば西き  
 こしめさせたらんは言  
 14 81 10 いとにかにかにかにいと大西国穂いとにか  
 に西言  
 14 81 10 御心なりけりとつとみ心なりけりとつとみ  
 大ものなりけんとうらみ西  
 14 81 10 うとみきこえたまはむ心くるしと思きこえつ  
 る心もつせめいとつしるめたき御心なりけり  
 とナシ穂  
 14 81 10 きこえたまはむ聞給はん阿  
 14 81 11 心くるしいとをし西くるし国  
 14 81 11 思きこえつる思ひ聞えたる言  
 14 81 11 心も心西  
 14 81 11 いとナシ麦阿  
 14 81 11 うしろめたきうしろめき磨滅天うしろ  
 めたかりける国うしろめたき麦  
 14 81 11 なりけりとなりけり西なりと言  
 14 81 11 むかひ火むかへひ大西保むかひ国むか  
 ひ穂  
 14 81 12 いてやいて大保穂いと国  
 14 81 12 さはれやされや磨滅大さはれ西さは  
 かれや麦阿  
 14 81 12 物おそろしくもおそろしうも大ものを  
 そろしも穂

14 81 12 あらす おほえす国穂 ナシ言  
 14 81 12 なりにたり 成にたる阿  
 14 81 13 まけ み国穂  
 14 81 13 たまひし 給へりし西 たまうし保 給へまし  
 穂  
 14 81 13 いとノ おしかりしか いとをしかりしか西  
 国阿  
 14 81 13 めしいれてやはめしよせてやは西 めしいれ  
 て保国穂 めし入てやはら言めしいれよなや  
 麦阿 めしいれよてイ(な)や阿  
 14 81 14 めくはせ めこはせ西  
 14 81 14 たてまつらましかは 給へらましかは保  
 14 81 14 物を ナシ国穂 を阿  
 14 81 14 などと西  
 14 82 01 いてやなぞ なぞやなぞノ ヲ削ッテ後出なヲ  
 書ク天 いしやなぞ保 いさやなと国穂  
 14 82 01 数ならぬ身にかすならぬみの大保国穂  
 14 82 01 うちわらいてうちわひて保  
 14 82 03 つよきによらむ つきよにかなよら(む)きノ  
 前ニよヲ移ス符号アル力「天」つよきにまけん  
 「まハよ力」西「つらきによらん」国穂 つよきに  
 よらぬ麦阿  
 14 82 03 いらふる いふ大国穂 いひふる言  
 14 82 04 さへそ さへ言さまそ麦阿  
 14 82 04 つらかりける つれなかりける国穂  
 14 82 05 手をゆるせかし ヲテモゆるせかし保  
 14 82 05 君にまかする 君かまかする西  
 14 82 06 かたらいあかす かたりあかす大国穂  
 14 82 06 又の日はまたの日国

14 82 06 う月に 四月に保  
 14 82 06 なりにければ なりにけり保 なりにたれば  
 国  
 14 82 06 はらからこゝかしこ大  
 14 82 06 君たちの きみたち大西国言穂 きんたち  
 西 きんたちの保  
 14 82 06 うちにうちへ保  
 14 82 07 さまよふに 給に大保穂 さまよふ麦阿  
 14 82 07 いたう いたく西言 いたく国穂  
 14 82 07 くんしりてくして大保国穂 くんして保国  
 穂くし入て言麦阿くし入て麦  
 14 82 07 なかめぬたまへれば なかめいり給へれば  
 西 なかめぬたれば言 なかめ給へれば麦  
 阿  
 14 82 07 はノ北のかたは はノきたのかた保 北方は  
 麦  
 14 82 08 おはす おはする麦  
 14 82 08 おとゝも おとゝは大保国穂  
 14 82 08 所も ところ保  
 14 82 08 あるへし あしかるへし麦阿  
 14 82 08 なにノかは なにかは大西保麦阿穂 なかには  
 国  
 14 82 08 おほなノ おうなノ 西国  
 14 82 08 きノいれむくちいれきこえん保  
 14 82 09 思ひてくやしう おほして国穂  
 14 82 09 たいめん たいめ大麥阿  
 14 82 09 ついてにも つひてに国穂  
 14 82 09 きこえす きこえ大

14 82 10 申さましかは きこえましかは保国言穂  
 14 82 10 さりと も さりとん大西  
 14 82 10 えたかへ たかへ大西国穂  
 14 82 10 給はさらましなど さらましなど麦阿 さら  
 ましなど麦 給さらましなど穂  
 14 82 10 のたまふさて のたまひて西の 給てさて麦  
 阿  
 14 82 12 花をみて はなみても大西国穂  
 14 82 12 けふよりや いまよりや大  
 14 82 12 したにまとはむ したにまよはん国穂  
 14 82 13 おまへにて 御まへに西保をまへに保 御ま  
 へにて国 御前にて言穂  
 14 82 13 これかれ ナシ保 これかれの麦阿  
 14 82 13 上らうたつ さふらふ大西国穂  
 14 82 13 人々ノノの西 これかれ保  
 14 82 13 この ナシ西穂  
 14 82 13 御けさうひと 御けさう人とも保  
 14 82 13 さまノに さまに西さまノ 保国言  
 穂  
 14 82 14 なかに 中に西言麦阿穂  
 14 82 14 中将のおもと 中将のをもとは穂  
 14 82 14 いきしにををいしにおと西  
 14 82 14 さまのことに さまには西さまのときに  
 保  
 14 83 01 のみは 大国穂 ナシ西のみ言麦阿  
 14 83 01 心くるしけなりし くるしけなりしはや国  
 穂 心くるしけ也言  
 14 83 01 きこゆれば きこえければ国  
 14 83 01 かむの君かむのとの保



- 14 83 02 北の方の北の方言  
 14 83 02 おほす所によりせめて人の御うらみふかくは  
 とりかへありてナシ麦阿  
 14 83 02 おほすおもほさん大保国穂 おはする西お  
 ほさん保国  
 14 83 02 所によりせめて所によりなりとめて西  
 14 83 02 御うらみうらみ国穂  
 14 83 02 ふかくはとふかつは大西国言穂 ふかくは西  
 国言穂  
 14 83 03 おほすおもほす大  
 14 83 03 さまざまけやうにさまざまけんやうに保麦  
 阿  
 14 83 03 思ふらんは思はんは西言麦阿 おほすらんは  
 保思ふらんことは国穂  
 14 83 03 しもしかノ国  
 14 83 03 めさましきことあさましきこと大めさま  
 しき事に西めさまほしきを保あさまし国  
 穂  
 14 83 03 かきりなきにてもかきりなきことん西  
 14 83 04 たゝ人にはたゝ人に西たゝ人にて麦阿  
 14 83 04 かけてかけても大西かねて国  
 14 83 04 物に事に西やうに保  
 14 83 04 ことのゝこ殿言  
 14 83 04 をきてたりしおきて給し西  
 14 83 05 まいりま許(い)り大  
 14 83 05 給はむ給はんにて西保給はん事国  
 14 83 05 たにに麦阿  
 14 83 05 ゆくすゑのゆくすゑすゑの保

- 14 83 05 はへしからぬをはえしからぬをそ  
 大保穂をそをと保ことをこそ穂はえし  
 しからぬことをかにノ上カラことヲ書ク  
 力国  
 14 83 05 おほしたるおもほしたる大おほす保おほ  
 したつ国  
 14 83 05 おりをりに保  
 14 83 05 この御ふみ此文麦阿ナシ穂  
 14 83 06 あはれかるあはれにみたまふ西哀なる  
 言  
 14 83 06 御返事御返大国御返し西保言阿御かへり  
 穂  
 14 83 07 けふそしるけふはしる西  
 14 83 07 空をなかむるそらをなかむる穂  
 14 83 07 花に心を心はゝなに大心は神に西  
 14 83 07 うつしけりともうつしけりとは大うつしけ  
 りとん西  
 14 83 08 のみものみ西国麦阿穂も言  
 14 83 08 かなナシ国  
 14 83 08 なんと大保穂  
 14 83 08 いへといへとも国いへは麦阿  
 14 83 08 うるさかりてうるさかりえにほえ八てノ誤  
 写力麦  
 14 83 08 かきかへすかきもかへす保かきかへ  
 言  
 14 83 08 九日にそこぬかのひそ大けふそ西九日  
 そ保九日に麦阿  
 14 83 09 右の大殿右大い殿より大保右右の保右  
 大殿より西国穂右右の国右おとこの言右

- の大ぬ殿麦阿(右の右阿)  
 14 83 09 御せんの人々の人ノ破損大御前の人  
 ノ西言麦阿穂御せん保  
 14 83 09 あまたナシ大国穂あまたにも言  
 14 83 09 たてまつりたてまつれ大保  
 14 83 09 北のかたもきたの击破損大北方は麦  
 阿  
 14 83 10 思きこえたまへと思ひきこえたまへれと  
 保思給へと言思聞えと給へと麦  
 14 83 10 としころよとしこ「破損大ト」しころ  
 は国年ころえ穂  
 14 83 10 さも击破損大さしも保  
 14 83 10 あらさりしにあらりし破損大  
 14 83 10 御ことゆへ御事により保御事ゆへに言事  
 ゆへ麦  
 14 83 10 しけうきこえかよひしけうえかよひ破  
 損大しけうきこえかよひ西国しけそ聞え  
 「書入同筆力」しけうきこえ穂  
 14 83 11 たまへるを給へる西  
 14 83 11 かきたえんもかきたらんも阿  
 14 83 11 かけ物ともかけ物とん大西かけ物国  
 穂かけ物とも言  
 14 83 11 よぎたき物大ナシ保  
 14 83 11 女の女はつの穂  
 14 83 11 さつそく御さつすく大  
 14 83 12 ともなど大国穂ナシ西言  
 14 83 12 あまたあまたして西ナシ国穂  
 14 83 12 たてまつれメタてまつり大西国言  
 14 83 12 給へり給へる大たま保

14 83 12 あやしうあやしく国穂  
 14 83 12 うつし心も「ウ」つし心大うつし心も  
 麦うつし心も阿  
 14 83 12 ありさまをありさま西 有様を麦 御有さま  
 を穂  
 14 83 13 み給へあつかふみたまへあわつる大 み給  
 あつかふへき西 みたまへあつかひつる保国  
 穂  
 14 83 13 ほとに「月」ころにて「国」八ころカ「天」国穂 ひ  
 ころにて西「ころ」にて保  
 14 83 13 うけたまはりとうむる「う」け給はりとかむる  
 国穂「う」け給とうむる麦阿  
 14 83 13 なかりけるをなかりける西  
 14 83 13 おとろかさせおとろかさせ西  
 14 83 13 給はぬも 給はぬ人も西 給はぬ保  
 14 83 14 うと／＼しく「う」らめしう保  
 14 83 14 なんとそ なんとそ大言穂 とそ保 なんとそ  
 国  
 14 83 14 ありける ナシ保  
 14 83 14 をひらかなるをひらかなる大 おいらくか  
 なる麦  
 14 83 14 ほのめかし ほのめかい西  
 14 83 14 給へるを 給へるも保 たまふを穂  
 14 84 01 いとおしといとをしく保  
 14 84 01 み給 みたまふ『大成』みたまふをトスルガ、  
 を八次項落丁部分のおと／＼も おの可能性がある  
 リ「大」  
 14 84 01 と／＼も御ふみ… 14 84 10 ひめ 落丁大  
 14 84 01 おと／＼も おと／＼の西

14 84 01 あり ナシ西保国穂  
 14 84 01 身つからも 身つから穂  
 14 84 01 まいるへきにまいるへく保言麦阿  
 14 84 01 思たまへつるに 思ひ給つるを西ノつハハト  
 紛ラワシ「西」穂 おもふたまへつるを保 思  
 ひ 給えるを国 思ひ給へるに言阿 思給るに  
 麦 思給へるに阿  
 14 84 02 つ／＼しむ つ／＼む西保  
 14 84 02 事の 事保国穂  
 14 84 02 侍てなん侍てなんなニミセケチカ西  
 14 84 02 おの子ともをのことん西  
 14 84 02 さうやくさふらふやう西  
 14 84 02 まいらすまいらせばへり保  
 14 84 02 ところからすところからて西  
 14 84 03 兵衛佐 ひやう系のすけ西言 兵衛佐のきみ  
 保  
 14 84 03 たてまつれ たてまつり西国言  
 14 84 04 大納言とのよりも人々の御くるまたてまつれ  
 給 大納言殿より人／＼の御車奉り給麦  
 14 84 04 よりも より麦阿  
 14 84 04 人々の御くるま 御くるま人／＼西 人／＼御  
 くるまなと保 御くるまなと国穂 人／＼御車  
 言  
 14 84 04 たてまつれ給 たてまつりたまふ西国麦阿 た  
 てまつれたまへり保 たてまつり給へり言  
 14 84 05 御むすめ むすめ国  
 14 84 05 いつかた いかなる西  
 14 84 05 むつましう むつましく国

14 84 05 きこえかよひ きこえかはし国穂  
 14 84 06 給へけれと 給へけれと保 給へけれとも  
 言 給けれと麦阿  
 14 84 06 藤中納言はとう大納言は西 頭中納言は麦  
 阿と中納言は穂  
 14 84 06 弁のきみたち 弁なと西 弁のきみと保 弁の  
 君国 弁君たち麦阿 弁君たちと屯麦 弁君な  
 と穂  
 14 84 07 もろともにもろとんに西  
 14 84 07 こと ナシ国麦阿  
 14 84 07 殿のとの西麦阿穂「こ」殿の保  
 14 84 07 をはせましかはとおはせましかは麦  
 14 84 07 あはれなりものあはれなり保  
 14 84 08 蔵人のきみくら人の少将西保 蔵人君麦  
 阿  
 14 84 08 ことはこの葉言「こ」と麦阿  
 14 84 08 思はへる おもひはつる西ノつハハト紛ラワ  
 シ「西」麦阿  
 14 84 08 いのちのいのち西 いのちのほこの国穂の  
 ちの麦  
 14 84 09 さすかにさすかにさすかに穂  
 14 84 09 かなしきを かひなきを麦阿  
 14 84 09 あはれと思とはかりたにあはれとおもふ許  
 たに西 あはれとはかりはをもふと保 あはれ  
 とはかりは思へと国穂  
 14 84 09 一ことひと事も保 ひとことはかり言ひと  
 ことは穂  
 14 84 09 のたまはせはのたまはせよ保国 の給はせは  
 そ麦阿

14 84 09 それにナシ麦阿  
 14 84 10 とゝめられてとゝめられ西麦阿とゝめて保  
     国とめて穂  
 14 84 10 みれはナシ穂  
 14 84 10 ひめ君ふたところ きみふたところ 八  
     落丁部分「大ひめきみたちふたところながら  
     保  
 14 84 11 うちかたらひて かつらひて西うちかたらひ  
     給て国  
 14 84 11 いとナシ保言  
 14 84 11 いたういたく西国穂  
 14 84 11 くんしたまへりくしたまへり大保国麦  
     阿  
 14 84 11 もるともに もるとんに大西  
 14 84 12 たにナシ保  
 14 84 12 いとナシ大保国穂はと言  
 14 84 12 し給てしたまで大  
 14 84 13 かたみにナシ穂  
 14 84 13 わたりかよひ わたりかよひて大わたり  
     かよひ給て西国 わたりかよひつゝ保ナシ  
     穂  
 14 84 13 おはするを おはするに大おはす ルヲ 西  
 14 84 13 よそノに よそノ西保 よそに国穂  
 14 84 13 事をことゝ大保国穂  
 14 84 13 けりナシ阿  
 14 84 14 したてひきつくるひたてまつりひきつくる  
     ひしたてたてまつり大西 ひきつくるひ保 ひ  
     きつくるひしたて国穂 したひきつくるひ奉り

    言したてひきつくるひてまいり麦阿  
 14 84 14 給へるたる大  
 14 84 14 御さまさま大保ナシ穂  
 14 84 14 おほしの給しおほしのたまうし大保 おほし  
     の給麦  
 14 84 14 さまわかさま大  
 14 85 01 なとをなと大西保国麦阿穂などを言  
 14 85 01 おほしいてゝおんほしいてゝ大おほしいつ  
     るも西  
 14 85 01 物あはれなるあはれなる西ものあはれな  
     る保  
 14 85 01 とりてよりて西  
 14 85 01 みたまふみたまつて保  
 14 85 01 北のかたのきたのかた西言穂  
 14 85 02 さはかりたちならひてさはかりかたならひ  
     て大たちならひさ許西たちならひさはかり  
     保ならひてさはかり穂  
 14 85 02 御中御なか大保言なか西  
 14 85 02 なとかうなとて大保国穂なとかは西なと  
     かく麦阿  
 14 85 02 すゝろことをそゝろことを西言麦阿穂すそ  
     ろことを国  
 14 85 02 思いふらんとかつおもひいふらんと大保国  
     穂「かうかく保国穂」思ひいらんと言  
 14 85 03 あやしきにもあやしきを大あやしきに  
     保あやし国穂あやしくも麦阿  
 14 85 03 かきりとあるをかり有を穂  
 14 85 03 まことやとまことにやと大西保国言麦阿

    穂  
 14 85 03 おほしておもほして大  
 14 85 03 この御ふみのはしに此御文のはし「補入力」  
     麦  
 14 85 03 御ふみふみ大西保  
 14 85 05 あはれてふあはれといふ大  
 14 85 05 つねならぬ世のつてならぬよの麦  
 14 85 05 ひとこともひとことをこと八推読「大」に  
     と「忠」ことも「麦」  
 14 85 05 いかなる人にいかなる人の国  
 14 85 05 かくる物そはかたる物そは大かくるものそ  
     はと保  
 14 85 05 ゆゝしきゆかしき国麦  
 14 85 06 かたにて方にそ言  
 14 85 06 思しりたるとおもひしわりたると大思ひ  
     しりたるかと言  
 14 85 06 かきたまひてかついひやれかすとナシ  
     大  
 14 85 06 かきたまひてかい給ひて西保かいたまつて  
     保  
 14 85 06 かうかく西国穂  
 14 85 06 かしナシ穂  
 14 85 06 の給をほのかにのたまひけるを大のたまひ  
     けるを西保国のたまひけるを保の給えるを  
     穂  
 14 85 07 たてまつれたるをたてまつれたり大保たて  
     まつりてけり西たてまつれり国穂奉るを  
     ハリ力言奉りたるを麦阿  
 14 85 07 かきりなうかきりなく西保麦阿穂かきりな

くて国

14 85 07 めつらしきにも、ウれしきにも大めつらしきよりも保穂、つらきよりも国

14 85 07 おり、おりを大西保国言麦阿、ナシ穂

14 85 07 おほしとむる、おもほししりける大穂、おほしとりける西、おほししりけると保、おほしわたる国、おほしとむる言

る国、おほしとむる言

14 85 07 いと、ナシ穂

14 85 08 なみたも、なみた西

14 85 08 と、まらず、とまらず麦阿

14 85 08 たちかへり、たかなはた、し、たちかへりたる、なはた、し、国阿、たかなはた、し、書人同筆力

言

言

14 85 08 などと、大國穂

14 85 09 いける世の、いけるみの大

14 85 09 うへにも、うへに、去、に八推読「大

14 85 10 給へき、給ましき、國穂、給ぬへき、麦阿

14 85 10 ほと、ほと、大西保言麦阿穂

14 85 10 思ひ給へまし、かは、おもふたまへまし、か「磨滅」大、思給へまし、かは、西麦阿穂、思たまへし

かは保、思給はまし、かは、國言

14 85 10 ひたみちにも、ひたふるに、大國穂、ひたみちに

西保、ひたみちに、去、書人同筆力「言

14 85 10 侍らましを、なとは、へら、さらまし、なと、大、侍な

ましと、國、侍らましと、穂

14 85 11 あるに、あるを、保麦阿

14 85 11 うたても、うたて西、うたてくも言

14 85 11 いらへをしてける、いらへをしつる大、かくを

はしてける、國、いらへをしける、穂

14 85 11 かな、かなと、麦阿

14 85 11 かきかへて、かきもかへて、大西保、かきかへて、國、かきかへて、り、ノ、上、カラ、かへ、書、ク、言、か

きそへて、阿

14 85 11 くるしけに、くるみに、み、力、穂

14 85 12 おほして、おほいて、保

14 85 12 なりぬ、ナシ、國穂

14 85 12 めやすき、よしありめやすき、大國穂

14 85 12 かきり、ナシ、國穂

14 85 12 と、の、へ、られたり、と、の、へ、たり、西、あ、つ、め、さ

せ給へり、國穂

14 85 13 など、ナシ、國穂

14 85 13 給はましに、給しに、西、たまはむに、穂

14 85 13 女御の御かたに、女御との、御方に、大、ノ、と、八

推読「大國穂、女御おほかたに、西

14 85 14 わたり給て、わたりたまて、大、まいりたまひて

西保、まいりたまて、保

14 85 14 かの君は、かの君、西、かの君の、國穂、か

んの君に、麦阿

14 85 14 などを、なむ、大、ナシ、西、國穂、なむ、行、末、後、補、力

言

14 85 14 きこえ給、きこえ給て、保

14 85 14 夜、よ、大西保穂

14 85 14 うへに、うゑ、大保國、ナシ、麦阿

14 85 14 まうのほり、まいり、國穂

14 86 01 給ける、たまうける、大、給けり、言

穂

14 86 01 きさき、女御、なと、きさき、女御、大、女御、國

14 86 01 給へるに、たまひに、たるに、大保穂、給に、けるに

國

14 86 01 いと、ナシ、保

14 86 01 うつくしけにて、さかりに、うつくし、さかりの

大、うつくしけにて、さかりの、西、さかりに、う

くしけにて、保、うつくし、さかりの、國穂

14 86 02 さまを、御さまを、大保穂、御あり、さまを、西、御

さま、國

14 86 02 みたてまつり、みたてまつる、り、大

14 86 02 たまふは、給に、大西國言穂、たまうて、保、給へ

は、麦阿

14 86 02 なたて、かは、なとて、か、西、麦阿、なと、か、國

穂

14 86 02 おろかならむ、を、ろかには、あらん、保

14 86 03 と、きめ、給、時、め、いた、ま、ふ、大

14 86 03 心、やすく、め、やすく、大

14 86 03 もて、なし、給へる、もて、なし、たまへる、ふ、ノ、上、カ

ラ、ヘ、ヲ、書、ク、大、もて、な、させ、給へる、保、もて、な

しも、給へる、書人同筆力「言

14 86 03 さま、御あり、さま、大西國穂、ナシ、保

14 86 03 あらまほしう、あ、まほしう、磨滅「大、あらま

ほしく、西保國、麦阿、穂

14 86 04 めて、たかりける、めて、たかめる、大

14 86 04 かの君を、かむの、きみをは、保

14 86 04 しは、しは、しは、は、大國穂

阿

14 86 04 給なん、たまひ、なんや、大、給は、なん、麦阿

14 86 04 御心と、めて、ナシ、西、國穂、御心と、めて、言、麦

を保言

14 86 05 やをらやをく(ら)大やはら言

14 86 05 給にければ給ひにけるを保

14 86 05 ちをしう心うしとくちをしう心うしと西

言くちをしと穂

14 86 05 おほしたりおも たり磨滅、おも八推読」

大おほいたり保

14 86 05 源侍従の君をは源しうのきみを大国穂源

侍従の君は保言 侍従君をは麦阿 侍従君を

は君を麦

14 86 06 おまへにナシ磨滅部ニカカルガ推読天 御

まへに西国穂 御前に言

14 86 06 まつはしつゝまつはしつゝへノ上カラ先

出つヲ書ク「大まつはして西まとはしつゝ

国麦阿穂

14 86 06 たゝナシ大国麦阿穂

14 86 06 おいゝて ひいて磨滅」大

14 86 07 給しにたまうしに保

14 86 07 御おほへ 御有さま国穂

14 86 07 院のうちには院の中には言麦阿

14 86 07 御かたにも 御かたにもも大御かたにも

麦

たにもナシ西

14 86 08 ましらひましり麦阿

14 86 08 ありき給ふあるき給大穂

14 86 08 このナシ麦阿

14 86 08 御かたにも 御かたに大国穂

14 86 08 心よせ心さし保心にも心よせ麦

14 86 08 ありかほにあるをは国

14 86 09 いかん如何に西

14 86 09 みたまふらむ見え給らむ麦阿

14 86 09 心さへ心も保心言心けさう穂

14 86 09 そひそ「磨滅」大

14 86 09 給へりけり保給ふ国穂

14 86 09 藤侍従なを源しう大しう西麦

14 86 10 かのこの大保国穂

14 86 10 御かたのナシ大国穂

14 86 10 御前おまへ大保麦阿 御まへ国

14 86 10 ちかくちかう大

14 86 10 みやらるゝ見やららるゝ麦

14 86 10 五葉にこように国

14 86 10 おもしろくおもしろう大言

14 86 11 さきかゝりたるをさきかゝりたる言

14 86 11 石はし西

14 86 11 給へりたり国穂

14 86 11 まほにはまをには西ませには国

14 86 12 世の中よのなかを保よを国穂世中の麦

阿

14 86 12 かすめつゝかすめ大かすめて国穂

14 86 13 手にかくるてにかゝる国麦阿てにかゝく

イ(る)阿

14 86 13 物にしあらはものにしありせは大

14 86 13 藤の花ふち はな磨滅」大

14 86 13 まつよりまさるまつよりこゆる大西保国

穂  
14 86 13 花をみあけたるみあけたまへる保国穂花を  
みてあけたる麦

14 86 14 なんとナシ保

14 86 14 あやしくナシ大あやしう保国言

14 86 14 あはれに心くるしくあはれに心くるしう

大こゝろくるしくあはれに保国穂こゝろく

るしく心くるしう国」

14 86 14 おもほゆれはみゆれは大国穂みゆれいは

西おほゆれは保言

14 86 14 我心にわか心にも保麦阿

14 87 01 ありさまにありさまなと西ありさまを保

穂有様に麦

14 87 02 色はかよへといるはかはねよへと大いる

はまかへと国色にかよへと言阿穂

14 87 02 藤の花ふちの「磨滅」大

14 87 02 かゝらさりけれまかせらさりけれゝノ上

カラせヲ書ク「大かはらさりけれ西

14 87 03 いとおいとをし保

14 87 03 思へり思ひけり国穂

14 87 03 まとふはかりはまどふへきほとには大国ま

よふはかりは麦阿まどふほとには穂

14 87 03 思ひいられさりしかとおもひいらさりしか

と大言

14 87 03 ちおしうはくち しうは磨滅」大くち

をしうさうしくは西保くちをしうは国

穂くちおしう言阿

14 87 03 おほえけりおもひけり西保おほしけり麦

阿  
14 87 04 かのこの大言きぬのアルカ、かのヲ上カ  
ヲ書クカ「西

14 87 04 少将の君は少将のきみ「磨滅」大

14 87 04 まめやかにナシ国穂  
 14 87 04 いかにかに 麦  
 14 87 04 せまし せん西  
 14 87 04 しつへくしつへう言しつへく麦  
 14 87 04 しつめかたくなんしつめかたうなん大言  
     しつめかたうなん大しつめかたう保ナ  
     シ国しつめたくなん麦しつへく穂  
 14 87 05 おほえける 思ひけり保おほえけり国  
     穂  
 14 87 05 きこえ給しきこえたまはし大 きこえ給つし  
     保聞えし言  
 14 87 05 中の君をと 中君をと麦阿  
 14 87 05 うつるふも うつるふ人 人ニミセケチカ  
     穂  
 14 87 05 あり ありけり保国穂  
 14 87 05 少将の君をは 少将の君を西国穂 少将の君は  
     言 少将君麦阿  
 14 87 06 は ンシ国穂  
 14 87 06 きたのかたの きたのかたのかたの保北の言  
 14 87 06 御つらみにより 御うしろみにより大御つら  
     みにより麦  
 14 87 06 おもほして おほして西保国言麦阿穂  
 14 87 06 ほのめかしの のめかし言  
 14 87 06 きこえ ナシ国言穂  
 14 87 06 給しを たまふしかと大保 給しかとも国 た  
     まひしかと穂  
 14 87 07 たり けり大國穂  
 14 87 07 院には 院にはかヲ削ッテはヲ書クカ言

14 87 07 かの この大國穂  
 14 87 07 君たちも きむたちも大 きみたち西  
 14 87 07 したしく したしう大國 したしく穂  
 14 87 07 さふらひたまへと まいりなれたまへと保さ  
     ふらへと國穂  
 14 87 08 給て たまで大  
 14 87 08 のち ナシ大 は西のちは保麦阿  
 14 87 08 おさ ンシ国  
 14 87 08 まれ ンシ国  
     は西 まれ ンシ国  
     保  
 14 87 08 さしのそきても さしのそきて保  
 14 87 09 あちきなつに けてなん あちきなくなん西に  
     けてそ保 あちきなくに けてなん国 あちきな  
     けにてなん麦阿  
 14 87 09 古おと ンシ国  
 14 87 09 心さしをき給へる 心さしをきてたまへる  
     大心よせをきて給へりしを國穂(給へりし  
     を給へりし穂)  
 14 87 10 さまことなりしをかくひきたかへたる御宮つ  
     かへを ンシ国  
 14 87 10 さまことなりしを さまことなりしに西  
 14 87 10 ひきたかへたる ひきかへたる保  
 14 87 10 御宮つかへを 宮つかへを穂  
 14 87 10 いかなるにかと いかにかなと大西 いかにな  
     と國穂  
 14 87 10 おほして おもほして穂  
 14 87 11 の給はせける御気色よろしからず 御けしき  
     よろしからずのたまはせける保  
 14 87 11 されはこそ されはよ保 ナシ国穂

14 87 11 世人の ひきくしてよひとの大國穂 ひきたか  
     へてよ人の保 かつも西  
 14 87 11 心のうちも うちも大保国 こら西 心の中  
     も言 ナシ穂  
 14 87 12 なりと なれと西 なれば保 なり國穂  
 14 87 12 かねて かねても保  
 14 87 12 申し事を まつしを大穂 おほし 事を  
     西 きこえしを保言 申思を国 申給ことを麦  
     阿  
 14 87 12 おほしとる おほししる大 思ひしる国 おも  
     ほししる穂  
 14 87 12 かたことにて 又西 かたありて保  
 14 87 12 かう かく大西穂 ナシ保国  
 14 87 12 おほしたちにしかはおほしたりにしかは麦  
     阿  
 14 87 13 ともかくも とんかくも大  
 14 87 13 きこえかたくて 聞えん方なくて言  
 14 87 13 侍には へる大  
 14 87 13 おほせ事 おほせ保  
 14 87 13 侍れは 侍は西言  
 14 87 13 なにかしらかなにかしか西  
 14 87 14 身のためも みのためも大 ためにも保  
     穂 ためにも国 身のためにも阿 ためにも  
     穂  
 14 87 14 あちきなく あちきなつ言 あちきなく  
     穂  
 14 87 14 なん侍と なむと大 なん西 なん侍りけると  
     保 など國穂  
 14 87 14 いと ナシ保言

14 87 14 ものしとナシ言  
 14 87 14 かの君を かの君に麦阿  
 14 87 14 申給申 磨滅大 申給は麦  
 14 87 14 たゝいまナシ西  
 14 88 01 かう かく大國穂 ナシ西  
 14 88 01 にはかにしも にはかにも西  
 14 88 01 思たゝさりしをおゝさりしを 磨滅大 思  
 たまへさりしを保  
 14 88 01 あなかちに あなかちにあなかちに穂  
 14 88 01 いとおしう いとをしう 大 いとをしく西  
 保言麦阿穂をかしう国  
 14 88 01 の給はせしかは の給はせしは阿  
 14 88 02 うしろみなき つしろみない大  
 14 88 02 はしたなけなめるをゝハした めるを磨  
 滅大 はしたなけなるを保はしたなけな  
 るを はう削ッテ後出なう書ク言 はしたな  
 けなめるを麦  
 14 88 02 心やすき 心やすけなめる 国 心やすけなる  
 穂  
 14 88 02 御ありさまなめるにまかせきこえてと御あ  
 りさまにと保国 御さまにと穂  
 14 88 02 御ありさま 御有様麦  
 14 88 03 なめるに なるめるに言  
 14 88 03 きこえてと きこえて西 聞えんと麦阿  
 14 88 03 思よりしなり 思ひよりしなりしノ上カラよ  
 りう書ク言  
 14 88 03 たれもノ たれも西 たれノ 后補テヨ  
 イカ言  
 14 88 03 ひなからむ えあるましからん大 ひなかるへ

き西 ひなかるへからん保穂ひんひ穂ひ  
 んなからん国言麦阿  
 14 88 03 事は事ノ国  
 14 88 03 ありのまゝにもありのまゝに西言  
 14 88 04 いさめ いさめきこえ西 いめ言  
 14 88 04 たまはて 給かて国  
 14 88 04 ひきかへし ひきか 磨滅大  
 14 88 04 おもむけて おもふけて大保 おほむけて  
 西 思ふけて保 思ひむけてヨイカ言 ナシ  
 穂  
 14 88 05 のたまふなれば のたまふなればこそ大 の給  
 すめれば西  
 14 88 05 くるしうなん これもさるへきにこそはとなた  
 らかにの給て ナシ穂  
 14 88 05 くるしうなん くるしくなん 大國 くるしうな  
 と西 いとなんくるしき保  
 14 88 05 こそはとこそなと西  
 14 88 05 なたらかに いとなたらかに大西國 ナシ  
 保  
 14 88 05 の給てのたまふて大保 のたまひつゝ  
 西  
 14 88 06 心も 心西  
 14 88 06 さはかい給はず さはかしたまはず大西國  
 穂  
 14 88 06 御すくせは 御すくせをは保国  
 14 88 06 みえぬ みぬ西國  
 14 88 06 かう かく大西保國穂  
 14 88 07 ことなるとも ことなることん大 ことなる  
 ん西 ふかき事とも 國 ことならんとも 言ふ

かき事も穂  
 14 88 07 そつしなをす そつしなす大西國穂  
 14 88 07 ことならむ まことならん国  
 14 88 08 給とて 給はんと言  
 14 88 08 院の女御をは 院の女御は国 ナシ穂  
 14 88 08 いかゝ いかゝは大西保國穂  
 14 88 08 給はむとする たまはんする大 給はん西國  
 穂  
 14 88 08 うしろみや つしろみよ麦阿  
 14 88 09 おほしかはすとも おほしゝかはいとん西 お  
 ほしかはす事も國穂  
 14 88 09 さしも ナシ大  
 14 88 09 え侍らし えはへらしかし大 侍らし保 侍ら  
 しかし國穂  
 14 88 09 みきゝ みきこえ西  
 14 88 09 よう よく大保 よろつ國穂 よそ言かし麦  
 阿  
 14 88 10 内は うちに大國穂 うちには保  
 14 88 10 おはします をはす保  
 14 88 10 ましらひ ましろひ麦阿  
 14 88 10 給はずや 給はずやは國穂  
 14 88 10 つかふまつる つかまつる言  
 14 88 11 事ナシ保  
 14 88 11 それか心やすきこそ これか心やすさそ大 そ  
 れこそ保國穂 それか心やすきそ言  
 14 88 11 けうある けふある西言 けにある國  
 14 88 11 しけれ しける西 しけめ穂  
 14 88 11 いさゝかなることの いさゝかの保國穂

14 88 12 きこえたたまはむにきこえ給らんに西きこえ  
 たまはゝ保きこえさせ給国穂(給)たまはゝ  
 穂(聞え)給はんに麦  
 14 88 12 ひかみたる ひかめたる麦阿  
 14 88 12 やうになん やうに大西国穂  
 14 88 13 きゝみゝもきこえなん大國穂 きゝみゝなり  
 西きこえも保  
 14 88 13 侍らんなと 給はんなど西侍へきと保侍ら  
 んかしなと言侍らんと麦阿  
 14 88 13 ふた所 ふたり保所言 ふた所に阿  
 14 88 13 申給へは聞え給へは言  
 14 88 13 かの君 かの君は麦阿  
 14 88 13 おほして おほしたり大保国 おほしてけり麦  
 阿  
 14 88 14 御思 御おもひに西  
 14 88 14 そへて なり穂  
 14 88 14 まさる まさるに保国  
 14 88 14 七月 ふつき大  
 14 88 14 はらみ給にけり たゝならぬさまに西 たゝな  
 らすなり給にけり国麦阿穂  
 14 88 14 うちなやみ いたうなやみ保国穂(いたうい  
 たく国穂)  
 14 89 01 さま さまに保  
 14 89 01 けに かつ保 けにかく国穂  
 14 89 01 人の人 人の大西保国麦阿穂 人の言  
 14 89 01 さま さまに 西保穂 さまに 西保阿  
 14 89 01 わつらはすも わつらはすも 麦阿  
 14 89 02 いかてかはいかて保国言穂 いかてか麦

阿  
 14 89 02 かゝらむ かゝる保国穂  
 14 89 02 なのめに なのめには麦阿穂  
 14 89 02 みきゝすくしては みすくしきこえて保きゝ  
 すくして国みきゝ過しては言  
 14 89 02 おほゆる みゆる大保国穂  
 14 89 02 あけくれ あけくれは西  
 14 89 03 御あそびを あそびを阿穂  
 14 89 03 給つゝ たまふにも大給て西麦阿穂 たまふ  
 つゝ保 給ても国  
 14 89 03 侍従も しゝうをも大麦阿 源侍従をも保源  
 侍従を国穂 源侍従 を穂  
 14 89 03 けちかう ちかく西国 けちかく穂  
 14 89 03 めしいる れはめしよすれば西  
 14 89 03 御ことのね ことのね保国穂 御琴のね麦  
 阿  
 14 89 03 などは など西 なども保国穂  
 14 89 03 きゝたまふ たまふ 破損(大  
 14 89 04 かの ナシ大國穂(この西  
 14 89 04 梅か枝にむ かえに「破損」大むめかえ  
 保  
 14 89 04 中将のおもとの中 もとの破損(大) 中将の  
 をもと保 中将のをもの書人同筆力(言) 中将  
 のの穂  
 14 89 04 わこんも わんも破損(大) わこんおも西わ  
 こんも保 わこんを国  
 14 89 04 めしいてゝ めしいてつゝ西  
 14 89 05 給へは 給へは言(たまふえ)は穂  
 14 89 05 聞あはするにも ひきあはするにも国穂(きゝ

あはするも言聞えあわするにも麦  
 14 89 05 たゝには いたゝには大保国穂(いといと  
 穂)  
 14 89 05 その ナシ保  
 14 89 05 おとこたうか おとこたうか国  
 14 89 06 せられけり せられけるに保国穂  
 14 89 06 わか人ともの中に わかうとゝ大ひととの  
 なかに西 わか人とも保わか人国穂 わか  
 人の中に言 わか人たちの中に 八虫損(三  
 リ) 推読(麦) わかき人たちの中に阿  
 14 89 06 ものゝ上手 ものゝ上す大 上す保  
 14 89 06 ころをひなり 中に西  
 14 89 07 中にも なかにも大保言(中に麦阿) 中にも中  
 にも穂  
 14 89 07 すくれたるを すくれたる大國穂  
 14 89 07 四位侍従 四位のしゝう大西保言麦穂  
 14 89 07 右のかとう みきのと大穂 右のかとうに  
 保 右と国 右のかとう言  
 14 89 07 蔵人の少将 蔵人少将保蔵人少将は麦  
 阿  
 14 89 07 かく人のかすのかく人の大かのかた人の国  
 穂(かのその穂)  
 14 89 08 うちありけり うちなりけり西(うちな  
 り保) うちありける 国穂(中にありけり  
 言  
 14 89 08 月の 西保国言麦阿穂  
 14 89 08 はなやかに ナシ保はれやかに国  
 14 89 08 御前(こせん) 大國 おまへ西保 御せん国 御所  
 言



14 89 09 れせい院にれんせい院に大國(せいれん)せ  
い院に大冷泉院に保言麦阿穂  
14 89 09 女御も女御西  
14 89 09 うへにうへの大  
14 89 09 御つほねして御つほねにて大つほねして国  
穂  
14 89 10 みこたちみこたちなと大保国穂(みこ)御子  
国(御子たち)麦阿  
14 89 10 たまふ給へり保  
14 89 10 右の大殿右の大い殿大右のをとく保国  
穂(右大殿)麦阿  
14 89 10 ちしの大殿のちしのおとの大保国(ちし)  
大納言も西(ちし)の穂  
14 89 10 そつを御そつ大穂(そつ)西(御そつ)を保言(御  
とつ)と国  
14 89 10 はなれてなれば国はなれては穂  
14 89 11 きら／＼しうきら／＼しく西(保)麦阿  
14 89 11 きよけなるものきよけなる大保国穂(もの)き  
よき西  
14 89 11 人は人にて国  
14 89 11 よなりとよになりて西世也けりと麦  
阿  
14 89 11 おまへ御前大言穂(御まへ)西国  
14 89 11 院をは院を(は)麦  
14 89 12 いとナシ大國穂  
14 89 12 はつかしうことにはつかしきものに大國  
穂(はつかしく)心(こと)に西(はつかしく)ことに  
保言  
14 89 12 よついでをよついで

14 89 12 くはふるそつる西くはえる国  
14 89 12 中にもなかに大穂(中)に西(保)言(な)かに  
保  
14 89 12 くらひとの少将はくら人の少将は大西言く  
らひとの少将(保)国穂(くらひと)の蔵(蔵)人の国(蔵  
人穂)蔵(蔵)人(少将)は(蔵)人  
14 89 13 みたまふらん(みた)た(ま)ふらん大  
14 89 13 思ひやりておもひやりつ(大)國穂(を)もひや  
るに保  
14 89 13 しつ心なししつ心なき西  
14 89 13 なくなつ大(ナシ)西  
14 89 13 みくるしき(み)く(し)き(破損)大  
14 89 13 わた花もえた花も大(は)た(な)も西(わ)たは  
な保(は)た(は)な(も)国(わ)さは(な)も言(わ)か(た)  
は花も穂  
14 89 14 かさす(か)く(さ)す西  
14 89 14 みわかれてみわかれてなほあまたの人(ま)き  
れす大西(保)国穂(み)わ(か)れて(み)わ(か)れ(ん)国(れ)  
〔人(人)に西(保)国穂(ま)き(れ)す(み)わ(か)れ(す)西〕  
14 89 14 さまもこゑもいとおかしくそありける(ナシ)  
保  
14 89 14 さまも(さ)ま(西)  
14 89 14 こゑも(聞)も(阿)  
14 89 14 おかしく(そ)かし(こ)つ(そ)大(を)かし(う)そ西  
穂(お)か(しく)麦(お)か(しく)は(阿)  
14 89 14 ありける(あり)けり(麦)  
14 90 01 御は(し)の(み)は(し)の(大)西(保)国(言)穂  
14 90 01 もとに本(大)國(も)とに(ふ)穂

14 90 01 ふみよる(ふ)み(た)る(大)國(ふ)み(や)る(西)み(た)る  
〔前項参照〕穂  
14 90 01 あそひも(あ)そ(ひ)保(穂)あ(ら)そ(ひ)も(国)  
14 90 01 思ひ(い)て(ら)れ(け)れ(は)思(ひ)い(て)ら(れ)て(保)  
14 90 02 しつへくてしつへう大(保)國(言)穂(し)つ(へ)く(保)  
國穂  
14 90 02 涙(な)み(け)り(な)み(た)く(ま)れ(け)り(西)な(み)た(く)み  
てけ(書)人(同)筆(力)言  
14 90 02 きさいの宮の(后)宮の(國)麦(阿)  
14 90 02 まいは(ま)い(り)け(れ)は(西)  
14 90 03 そなたに(け)の(か)た(に)大(又)そ(な)た(に)國  
穂  
14 90 03 夜(よ)ふ(か)く(よ)ふ(か)う(大)保(麦)阿(よ)夜(保)麦(阿)よ  
よ(ふ)か(く)西  
14 90 03 よりも(よ)り(國)穂  
14 90 03 はした(な)う(は)した(な)く(大)西(保)國(穂)  
14 90 04 いか(い)と(女)御(い)かに(西)  
14 90 04 ま(ふ)ら(ん)と(落)丁(大)  
14 90 04 ふ(む)そ(ら)も(な)う(ふ)ん(そ)ら(も)なく(西)保(國)言(穂)  
〔ふん(ふ)む(保)國(言)〕  
14 90 05 さ(か)つ(き)も(さ)か(つ)き(に)も(保)國(穂)さ(か)月(を)  
言(さ)かり(も)阿  
14 90 05 さ(し)て(さ)ら(て)西  
14 90 05 ひ(と)り(を)の(み)ひ(と)り(を)西(國)穂(ひ)と(り)  
保  
14 90 05 め(い)ほ(く)なく(なん)め(ほ)く(なく)なん(西)め(ひ)ほ  
く(なく)な(ん)削(ッ)テ(ひ)書(ク)保(め)ん(ほ)  
く(なく)な(ん)國(穂)め(い)ほ(く)なく(に)言(め)い(ほ)く  
に(なん)麦(阿)

14 90 06 夜一よひと夜よノ書入八同筆力言  
 14 90 06 ところノとところノに国穂  
 14 90 06 かきありきてありきて西  
 14 90 06 なやましうなやましく西保国穂  
 14 90 06 ふしたるにふし給つるに西うちふしたるに  
 穂  
 14 90 06 源侍従を源侍従保侍従を麦阿  
 14 90 07 院よりつぢ(あむ)より保  
 14 90 07 やすむうちやすん西  
 14 90 07 給へり給言  
 14 90 08 御前のをまへの保御せんの国  
 14 90 08 ことゝも事とん西事保  
 14 90 08 などナシ西言  
 14 90 08 かとつとつ西かかとつ保楽とつ言  
 14 90 08 うちすくしたる人のさきノさきノもうち  
 ちすくしたる人の西うちすくしたる人のさ  
 きノも国穂人の人穂うち過したる人の  
 さきノ言うちすこしたる人のさきノ麦  
 阿  
 14 90 09 ほとナシ保おほえこそ国穂  
 14 90 09 心にくかりけり心にくかりけれ国心にくけ  
 れ穂  
 14 90 09 おほしためりおほしたり西国穂おほしめし  
 たり保おほしためり言  
 14 90 09 万春楽をはんひむらんは西はんしゆんら  
 く保はんしゆん二削訂保麦阿穂万秋楽  
 国万春楽麦阿穂  
 14 90 09 御くちすさみに御くちすさみに保国阿御く  
 ちさひに穂

14 90 10 し給つせさせ給つ保し給つアルカ  
 国し給て言しつ穂  
 14 90 10 御かたに御かたへ保国  
 14 90 10 わたらせわたり(らせ)穂  
 14 90 10 給へはたまへれば西言  
 14 90 10 御ともに御とんに西  
 14 90 11 さと人さと人さへ保穂御ともさへ国  
 14 90 11 れいよりはれいよりも保れいより言  
 14 90 11 はなやかに はれやかに国  
 14 90 11 けはひナシ国穂  
 14 90 11 いまめかしなまめかしつ西こころにくし  
 保こころにく国穂今めかしく麦阿  
 14 90 12 しはしナシ麦  
 14 90 12 人ノ西保  
 14 90 12 月かけはかけは言月かけ麦阿  
 14 90 13 蔵人の少将の蔵人の少将国蔵人少将の麦  
 阿  
 14 90 13 月の光に月のひかりにきたりしわさかな蔵  
 人麦  
 14 90 13 かゝやきたりしけしきもかゝやきしも国  
 穂かゝやきたりしけはひも麦阿かゝやき  
 しも穂  
 14 90 13 かつらのかけにナシ西かつらのかけ上の  
 ヲ削ッテにヲ書ク保かつこのかけに穂  
 14 90 14 はつるにはたゝには西はつるにはへノ上方  
 ヲヲ書ク保はつるにも国侍にも穂  
 14 90 14 ありけんありけんこそ西  
 14 90 14 ちかくてはな(ちか)うては大ちかくて西

14 90 14 みえさりきみえ給さりき西みえさわき国  
 14 91 01 ありありけり大西保  
 14 91 01 月はえは月は大西保月はえ言月さへ麦  
 阿  
 14 91 01 心ことなりと心ことなり大ナシ西心こと  
 なりなと国穂  
 14 91 02 さためきこえしさため聞え麦阿  
 14 91 02 などを穂  
 14 91 02 すかしてナシ国すかし麦阿  
 14 91 02 うちよりうちの大  
 14 91 03 その夜のことはそのよのかけこゑは大  
 14 91 03 思いつやおもひいてや国  
 14 91 03 ふしはなけれとふしはなけれは西ふしもな  
 けれと保  
 14 91 03 といふはかなきことなれとナシ大おもふは  
 かりなき事なれば西といふはかなき事なれ  
 は言  
 14 91 04 いとあさくはあさつも大あさくは穂  
 14 91 04 おほえぬおもほえぬ大  
 14 91 04 けりナシ国穂  
 14 91 04 身つから思しらる思しらる大みなからおも  
 ひしらる麦阿  
 14 91 06 なかれてのなかれてと大なかれても国  
 穂  
 14 91 06 たのめむなしきたのみむなしき保八  
 削ッテのみヲ書ク天西保国言穂頼みたにな  
 き麦阿たのみたになめむなしイキ阿  
 14 91 06 竹かはに竹河の(に)麦

14 91 06 世はうきものとよをうきものと西  
 14 91 06 物あはれなる物あはれなる麦 哀なる阿  
 14 91 07 けしきを 気色穂  
 14 91 07 人々 人ノハ 大国穂  
 14 91 07 おかしかるおかしかる けにノ上カラかるヲ  
 書クカ 西をかしとみる保  
 14 91 07 人の 人ノハ の穂  
 14 91 07 やつにも やつに西国  
 14 91 07 わひわひありき大保穂 わひもありき  
 国  
 14 91 07 給はさりしかと 給はさりしか西 給はさりしを  
 保 たまさりしかと穂  
 14 91 08 人さまの さすかに 人さまの すゝるに大保 ず  
 そろに人さま国 人さまそゝるに穂  
 14 91 08 心くるしうみゆる 心くるしくみゆることも  
 西 心くるしけ国穂 心くるしく見ゆるも麦阿  
 14 91 08 なり なりけり大保 ナシ西麦阿  
 14 91 08 うちいてすくす うちいてすゝこす西 うちい  
 てゝすく言 うち出すこす麦阿  
 14 91 08 事も ことん大  
 14 91 08 あなかしこ ナシ国穂  
 14 91 09 こなたにと こなたに国言穂  
 14 91 09 心ちすれと 心ちして西  
 14 91 10 こ六条院の こ六条の院の大西  
 14 91 10 たうかのあしたに たうかのまたのひのあし  
 た 大国穂 またのひ またの 日国 たうか  
 のありしたに西

14 91 10 女かくにて 女かたに大 女かたにて西保言麦  
 阿 女房の中に国穂 中に うちに穂  
 14 91 10 いと ナシ大国穂  
 14 91 10 おもしろかりきを かしかりき保  
 14 91 11 右のおと 左のをと 左の国  
 14 91 11 かたられし かたりし大保国穂  
 14 91 11 わたりの あたりの西 わたりに麦阿  
 14 91 11 さしつき さしつきに言穂  
 14 91 11 なるへき なへき西 なる国穂  
 14 91 11 かたく かつ保言麦阿  
 14 91 12 なりにける なりにたる大西保国穂 なりにける  
 言  
 14 91 12 よなりや世也と なる削ッテ也ヲ書クカ  
 言  
 14 91 12 いといと 大西国穂  
 14 91 12 女 御女西 をんな保 め国穂  
 14 91 12 おほく ナシ大国穂 おほう言  
 14 91 12 いかにい に麦  
 14 91 12 はかなきことも ナシ大 はかなきあそひも保  
 国穂  
 14 91 13 なとと大保国穂  
 14 91 13 おほしやりて おもほしやりて大 おほしより  
 て西  
 14 91 13 御こと 御事ともなと保 御事ともを国  
 穂 御琴とも麦阿  
 14 91 13 しらへさせ給て しらへさせて大 しらへ  
 させ給西 しらへさせたまうて保  
 14 91 13 さうは宮す所 しやうのこと宮す所西 さうの  
 ことは はみやす所保 さらは宮す所国穂 さ

うはみやす所の言 琴は宮す所麦阿  
 14 91 14 ひは くにうにたまふ ひわ侍従麦阿  
 14 91 14 わこんを わこん保穂 わこんは国麦阿  
 14 91 14 給て たまふて大  
 14 91 14 あそひ あそはせ西国穂  
 14 92 01 御ことのね ことのね大 御琴のね麦阿  
 14 92 01 またかたなりなるところありしを いたまたか  
 たなりなりしも西  
 14 92 01 よう よく国穂  
 14 92 01 をしへないたてまつり をしへなし大をしへ  
 なたてまつり西国穂 をしへなさせ保  
 14 92 02 給てけり たまふてけり保 てけり阿  
 14 92 02 いまめかしう いまめかしく国言  
 14 92 02 よくて をかして大保 おかしく国穂 よく  
 おの 麦阿 おかしく穂  
 14 92 02 うたこの物 うたかくのもの大保 うたての  
 物 本ま 卜傍記国 かたてのもの穂  
 14 92 02 上すに ナシ大保国  
 14 92 02 いとよくいと よう大保 いとよよう大 い  
 と言  
 14 92 03 なにことも なにことん大  
 14 92 03 をくれたる おほれたる国  
 14 92 03 ことは かた大国穂 かたは保  
 14 92 03 人 人から国穂  
 14 92 03 なめり なんめり言  
 14 92 03 かたちはた かたちはたなを保 かたちは国麦  
 阿穂  
 14 92 03 いと ナシ言

14 92 04 おかしかへしとをかしと大をかしかつ事へ  
 しと保をかしかるへしと国言穂おかしか  
 りしと麦阿  
 14 92 04 猶ナシ大国穂  
 14 92 04 とまるとまり阿  
 14 92 04 おりおりし国  
 14 92 04 おほかれとおほかれは大西保国穂  
 14 92 05 みたれ給かたなくみたまうたて大みなれ  
 給つたて西保国みたれ給方なぞ言見なれ給  
 て穂  
 14 92 05 なれししうなれししう(大)なれしし  
 しく西保国言穂あれししう麦阿  
 14 92 05 などナシ保  
 14 92 05 思ふ心のおもひしことの大國穂思ひしほ  
 保思ひし事の国  
 14 92 06 たかへるたかひにたる保  
 14 92 06 かすむるもかすむるに国穂  
 14 92 06 女宮ひめ宮穂  
 14 92 07 給ぬたま(ひ)ぬ西給はぬは力言  
 14 92 07 けさやかなるものナシ大  
 14 92 07 ものへはへもものへはへ西国穂  
 14 92 07 なぎやうなれとなれと保国穂  
 14 92 08 右の大殿右の大い殿大保言右のをと  
 国右大臣殿麦阿  
 14 92 08 はしめてはしめ国はしめたてまつりて麦  
 阿  
 14 92 08 おほんうふやしなひ御うふやしなぬ大保国  
 言麦阿穂うふやしなひは西  
 14 92 08 給にたまふ大西

14 92 09 とうとく西保国穂  
 14 92 09 のみナシ西  
 14 92 09 いか御いか言  
 14 92 10 女一宮女一の宮大保国穂  
 14 92 10 一所ひとつとこに西  
 14 92 10 めつらしくつうくつうてめつらしくつうく  
 しう大国穂つうくしうつうくしう国(めつ  
 らしうつうくしうて保麦めつらしうつうく  
 しくて言めつらしうて阿  
 14 92 10 おはすればをはしませは保  
 14 92 10 いとみしういとみしく西麦阿いみしく  
 保国いみし穂  
 14 92 11 おほしたりおほえたり言  
 14 92 11 たナシ国  
 14 92 11 こなたこの御方言  
 14 92 11 おはしますをはしますに保  
 14 92 11 女御かたの女御の御方の西保国麦阿穂  
 14 92 11 いとナシ大  
 14 92 12 かちてかちても西麦阿かくこそも国さ  
 らても穂  
 14 92 12 世かなと世中かなこと大よかなと西保  
 国  
 14 92 12 いひ思へりいひはへり大いひあへり保を  
 もへり穂  
 14 92 12 御心ともは御ころとんは大西  
 14 92 12 ことにナシ国  
 14 92 13 かるししくかたしう大ナシ西かる  
 ししく保かるししく国言麦阿  
 14 92 13 そむきそそむき保そんへき本まト傍

14 92 13 給にはたまふにも大給へきには保言給へ  
 きにも国給へきに穂  
 14 92 13 中になかに大保言  
 14 92 13 せしきくねしき西くせしき  
 阿  
 14 92 13 こともいてきなとしつことなともいてき  
 つう大国穂なと穂事ともいてきて  
 保  
 14 92 14 中将の君の中将の君西中将君の麦阿  
 14 92 14 さいへとさいへと保さいへと穂  
 14 92 14 人のひと大ナシ保国穂  
 14 92 14 のたまひしのたまし保  
 14 92 14 かなひてかなひゆく大西保国穂  
 14 93 01 かの君もかむのきみ大国麦阿穂  
 14 93 01 むけに「磨滅」大んけに西けに保国  
 穂  
 14 93 01 いひのはていひのはてはて国言穂い  
 ひのはてはて麦阿  
 14 93 01 いかならむいかならん大  
 14 93 01 人わらへに「磨滅」人わらはれに西  
 言麦阿穂人わらはれ(へ)に穂  
 14 93 01 はしたなうもやはしたなく大はしたなくや  
 西保はしたなくもや国穂  
 14 93 02 もてなされむもてなされむ国  
 14 93 02 うへのうへ「磨滅」天  
 14 93 02 御心はへは御心はえも大御心は西国  
 穂

記穂

14 93 02 あさからねと浅からぬと言  
 14 93 02 御かたノ、かたノ、大  
 14 93 03 よろしからず、よろしからぬけしきに国  
 14 93 03 はなち給は、はなれ給はずは西  
 14 93 03 くるしくもあるへき、くるしかるへうもある  
 大保、くるしうもありぬへき西、くるしかるへ  
 くもあるへき穂  
 14 93 03 かなと、かなと大  
 14 93 03 おもほすに、おもひ(ほ)す大、おもほす西、保国  
 穂、おもほすに言、おもほ(ほ)すに麦  
 14 93 03 内には、うちに西  
 14 93 04 物しと物して言  
 14 93 04 おほしつ、おほして大、保国穂  
 14 93 04 たひノ、御けしきありと人のつけきこゆれば  
 わつらはしくて中の姫君をおほやけさまにて  
 ましらはせてまつらむことをおほしてナ  
 シ大  
 14 93 04 人の人ノ、の保穂、人ノ、国  
 14 93 04 わつらはしくて、わつらはしくおほして保、わ  
 つらはしとおほして国穂、はつらはしくて  
 言  
 14 93 05 中の姫君を、ナシ西、国言穂、なかひめきみを  
 保、中君を麦、阿  
 14 93 05 ましらはせてまつらむことを、ましらはせ  
 たてまつらんと穂  
 14 93 05 ましらはせてまつらむましるはせん  
 西  
 14 93 05 ことを、前項参照、国穂  
 14 93 05 おほして、おほし穂

14 93 05 内侍のかみを、内侍を西、内侍督を言、麦、阿  
 穂  
 14 93 06 ゆつり給、ナシ大、ゆつりたまふ保  
 14 93 06 いと、ナシ、国  
 14 93 06 かたう、かたく西、国穂  
 14 93 06 なりければ、にて保、なれば国、麦、阿、穂  
 14 93 06 としころ、けにとしころ大  
 14 93 06 かう、かく西、国穂  
 14 93 07 えし、給はさりしを、えしたまはさりしを、大  
 西、保、ええ給はさりしを、国、えし、給はさりし  
 を、ハ、力、言、えしらせ給はさりしを、麦、阿、え  
 たまはさりしを穂  
 14 93 07 御心を、御心をは大  
 14 93 07 久しう、ひさしく西、国言、麦、阿、穂  
 14 93 08 など、なとを麦、阿、と穂  
 14 93 08 ひきいて、ト、ト「ひきいて、西、ひきて保  
 国、穂  
 14 93 08 そのこと、うちの事、国  
 14 93 08 かなひ給ぬ、かなひぬ大、国穂  
 14 93 09 申給しは、申給し事は、西、まつしたまつしは  
 保、申給しかは言、申給しを阿  
 14 93 09 かたき、かなはぬ大  
 14 93 09 かくて、かうて大、かく国、穂  
 14 93 09 心やすく、心やすく大、西、保、言、麦、阿  
 14 93 09 し給へかしとおほすにも、したまへかしとお  
 もほして、そ大、し給へりしとおほすも、国、穂、し  
 給へりしとし給へかしと穂  
 14 93 10 いとおしう、ナシ大、国、穂、いとをし、く西、麦、阿

14 93 10 事を、ことをは西、保  
 14 93 10 は、北のかた、は、きたの方、西  
 14 93 10 わさとのたまひし物を、わさとのたまひしこ  
 とを大、御、つらみに保、わさとの給しを、国、わ  
 さとのたまひし穂  
 14 93 10 たのめきこえしたのみきこえし大、言、たのみ  
 (め)きこえし大、たのめきこゆる保、たのみき  
 こゆる国、穂、たのめ、聞、し、阿  
 14 93 11 ほのめかしきこえしも、ほのめかしおきしも  
 国、穂、ほのめかし、聞、えし、も、麦  
 14 93 11 いかにか、く大、西、保、国、穂  
 14 93 11 思ひたまふらんと、おもひたまはんと大、おも  
 ひきこえ給はんと国、穂、思、聞、え、給、ふ、らんと、麦、阿  
 14 93 11 おほしあつかふおほしあつかうに大  
 保、弁、君、麦、阿  
 14 93 12 おと、に、おと、へ、西  
 14 93 12 かくる、かく大  
 14 93 12 あれば、侍、れば、保  
 14 93 13 あな、か、ち、なる、あな、か、ち、ならん、西  
 14 93 13 まし、ら、ひ、の、まし、ら、ひ、大、国、穂  
 14 93 13 このみと、このむと、国、穂  
 14 93 13 き、み、も、き、こ、え、も、大、保、国、穂  
 14 93 13 いか、と、いか、と、な、大、保  
 14 93 13 思給へて、思つたまへて大、おもひ給へられて  
 西、思、た、ま、へ、保、おもひ給へく、国、穂、思、ひ、給、へ  
 て、言、思、給、て、麦、阿  
 14 93 14 なん、なん、西、ナシ、保

14 93 14 わつらひぬる思わつらひ待ぬる西  
 14 93 14 きこえ給へはきこゆれば国穂  
 14 93 14 とかむるもとかむるに穂  
 14 94 01 うけたまはるうけ給麦阿  
 14 94 01 おほやけことに おほやけかたに大國穂  
 14 94 01 つけてもつけても西  
 14 94 01 さるましきあるましき西  
 14 94 02 わさになん わさなり大西国事になん保事  
 (わさ)なり穂  
 14 94 02 はや はやう大保  
 14 94 02 おほしたつへきになんと おほしたつへきこと  
 になんと保 おほしたつへきになん国言  
 14 94 02 申給へり きこえたまへり大國穂  
 14 94 02 又ナシ国穂 又麦  
 14 94 03 おしけち きさきときこゆともかならずをし  
 けち大西保国麦阿穂きこゆとも きこゆとん  
 西 きこえさすとも国 きこえたまふとも穂  
 をしけり書入同筆力言  
 14 94 03 給はさらまし 給さらまししハす力西  
 14 94 03 などと大國穂  
 14 94 04 ことゝもをことゝものみ大國穂 事とん西事  
 のみ保事とみに麦阿  
 14 94 04 あね君は あねきみを大國穂  
 14 94 04 などととも西  
 14 94 04 名たかう なたらかに西言麦阿 ナシ国穂  
 穂  
 14 94 04 おかしけなりとをかしかなりと穂ノ後出か  
 ヨイカレ保穂 おかしけなると言  
 14 94 04 をきたりけるををきたりしかと大をきたり

ける保国  
 14 94 05 ひきかへ ひきたかハ大ノかハ推読「大西保  
 国麦阿穂  
 14 94 05 給へるを たる大國穂 たるに西 たまへる保  
 14 94 05 なま心ゆかぬ なま心ゆかれぬ言  
 14 94 05 やうなれと やうなれは穂  
 14 94 05 いとナシ穂  
 14 94 05 らう／＼しく／＼らう／＼しう西保りやう／＼  
 しく穂  
 14 94 05 心にくゝ心にくきやうに保  
 14 94 06 もてなして もてなひて麦阿  
 14 94 06 さきのかんの君 きさきかんの君西前のかん  
 の君穂  
 14 94 06 かたち かたちなど保  
 14 94 06 かへてんと かへてもと西かへんと国麦  
 阿  
 14 94 06 おほしたつを おもほしたつを大  
 14 94 07 かたノゝにかたノゝ大保国穂  
 14 94 07 きこえナシ国穂  
 14 94 07 心あはたゝしうこゝろあはたゝしく保国言  
 麦阿穂  
 14 94 07 おほされめ おもほされめ穂  
 14 94 08 いつかたも いつかたをも国  
 14 94 08 みたてまつりなし給てもとかしき所なくひた  
 みに み奉りなし給てもとかしき所なくひ  
 みに 麦  
 14 94 08 みたてまつりなし給て みなしたてまつりた  
 まで大國穂 たまで給て国穂 みたてまつり

ない給ひて西保給ひて たまつて保  
 14 94 08 なくなう大言 なげに西  
 14 94 09 君たちの きみたち西  
 14 94 09 とゝこほりてとまりて西とゝまりて国穂  
 穂  
 14 94 09 内にはうちにはうハ推読「大  
 14 94 09 時々しひて 時々も保  
 14 94 10 給おりもあり たまふをり ありけり大 たま  
 ひけり保 給をりもありけり国穂  
 14 94 10 院には院は大  
 14 94 10 御心はへの 御心の西保国穂  
 14 94 10 なを ナシ大  
 14 94 10 たえねは たえぬねは麦 たえねとはノ上力  
 ラとヲ書ク力穂  
 14 94 10 さるへきおりも さるへきおりにも大 さるへ  
 きをりノゝも保穂  
 14 94 11 いにしへを いにしへ大國穂  
 14 94 11 おもひいてしか 思ひいてしに西 おほいつ  
 るに保 思ひいてゝ国 思出しは麦阿  
 14 94 11 かたしけなう かたしけなく西国麦阿穂  
 14 94 12 かしこまりにかはしらすり(こまり)に大  
 14 94 12 人のみなわかき人ノゝもみな西 みな人の  
 保 みな国穂 人皆麦阿  
 14 94 12 ゆるさぬゆるさぬ「みノ上カラゆヲ書ク」  
 大  
 14 94 12 おもへりしをも おもへりしも西 思へりしを  
 保国穂  
 14 94 12 思ひて 思て大 おもひたちて西保

14 94 13 たてまつりて たてまつりたまて大給て国  
 穂六給て穂  
 14 94 13 たはふれにても たはふれにも 大国麦阿穂  
 14 94 13 わかノしきひかノしき西  
 14 94 14 こそそ国  
 14 94 14 いとまはゆくナシ大いとノまはゆく  
 保まはゆく国穂  
 14 94 14 みくるしかるへけれみくるしけれ西  
 14 94 14 おほせとおもほせと大ナシ保心のうちに  
 おほせと国穂  
 14 94 14 つみによりとはたいみによりとは大麦  
 阿ゆえとん西いみによりとは保いみによ  
 りてとはた国穂いみに色に穂  
 14 95 01 宮す所にもえ宮すところも大  
 14 95 01 あかしえあらはし保あらはし麦阿  
 14 95 01 きこえナシ麦  
 14 95 01 我を我ヲ西われをは国穂  
 14 95 01 故おとハはこをとハの大国穂  
 14 95 02 かの君はかの君をは国  
 14 95 02 わかきみをわか君おとさへ西わかきみを  
 と保  
 14 95 02 さくらのあらしひあらしひ西桜あらしひ麦  
 阿  
 14 95 02 はかなき責はか(なき穂  
 14 95 02 おりにもをりに大事にても保をり国  
 穂  
 14 95 02 給したまつし大きこえ給し保給えりし  
 国

14 95 03 なりになりけりと西名残に麦  
 14 95 03 おほしおとしけるよと思ひをいたまつけ  
 るよと保おもほしをとしけるよと穂  
 14 95 03 うらめしううらめしく麦阿  
 14 95 03 思きこえおほえ西  
 14 95 03 給けりたまけり大たまつけり保  
 14 95 03 院のうへはた院上は麦阿院の上は阿  
 14 95 03 ましてまいて保ナシ麦阿  
 14 95 04 いみしういみしく保国麦阿  
 14 95 04 つらしとそつくしと大西つらとと大つ  
 らしと国穂  
 14 95 04 おほしのためはせけるおもほしのためはせ  
 ける大おほしのためひけり西思ひきこえた  
 まつける保おほしの給はせけり国穂おほ  
 しおもほし穂  
 14 95 04 さしはなちてさしはなたれて大さしはなれ  
 て国穂  
 14 95 05 思おとさるもおもひをとさるも大思ひ  
 おとさる国穂  
 14 95 05 給て14 96 11 なりしかと落丁大  
 14 95 05 おほしまさるこひしさまさる西おほしまさ  
 り言おもほしまさる穂  
 14 95 05 としころありてナシ国穂  
 14 95 06 おとこみこおとこ君西をとこ宮をさへ  
 国おとこ御子言麦阿をとこ宮さへ穂  
 14 95 06 うみ給つうみたまふつ保うみ給えり国  
 穂むみ給つ麦  
 14 95 06 そこらさぶらひ給もとさぶらひ給も国もと  
 候給穂

14 95 06 御方ノに御かたノ保国穂  
 14 95 06 事ことん西  
 14 95 06 なくてなくても国  
 14 95 07 としころになりけるをとしころになりた  
 まひぬるを保ころへぬるを国としころへぬ  
 るを穂  
 14 95 07 などかなと西保  
 14 95 07 よ人よ人も国穂世の人言  
 14 95 07 みかとは院の御がとはた保みかとはた国  
 穂院のみかとは麦阿  
 14 95 08 ましてまいて麦阿  
 14 95 08 めつらしとめつらしとのみ西  
 14 95 08 いま宮をはいまみやを保国言穂宮をは麦  
 阿  
 14 95 08 給へり給へる西  
 14 95 08 給はぬ給はざりし国穂  
 14 95 09 世ならましかはよならましかはは力穂  
 14 95 09 いかにましていかに保  
 14 95 09 あらましあらし麦  
 14 95 09 世をいとくちおしとなん世をそくちをしと  
 国穂  
 14 95 10 女一宮を女一のみやを保言麦阿  
 14 95 10 かきりなきたくひなき西保かきりな  
 麦  
 14 95 10 おもひナシ言  
 14 95 10 給しを給へりしを保国穂  
 14 95 11 うつくしくてうつくして西保麦阿うつく  
 しく国穂  
 14 95 11 給へれば給つれば言

14 95 11 めつらかなるめつらしき保国穂  
 14 95 11 かたにて まで西 かに保国穂 方麦  
 14 95 11 いといと 保 ナシ麦阿  
 14 95 11 ことに ことにもてなし西保国穂  
 14 95 11 おほいたるを おほしたるを国穂  
 14 95 12 なん ナシ国穂  
 14 95 12 あまりかつては あまりか くては西保麦阿 か  
 くてはあまり国穂  
 14 95 12 御心 心国  
 14 95 12 ける けり西麦阿 給ける国穂  
 14 95 12 ふれて ふれては言麦阿  
 14 95 12 やすからす ナシ穂  
 14 95 13 などして なむとして穂  
 14 95 13 をのつから ナシ国穂  
 14 95 13 御中 御事言  
 14 95 13 へかめり へかめり国言  
 14 95 13 こととして 事として保  
 14 95 14 なからひにも ならひにも言 ならひに穂  
 14 95 14 もとより ことより国 もとより こノ上カラ  
 モヲ書クカ「穂  
 14 95 14 方にこそ かにには西 かにに国穂  
 14 96 01 おほよその人も おほえよそ人も西 おほかた  
 人のも国 おほしよその人も穂  
 14 96 01 心を 心西国言麦阿穂  
 14 96 01 よする よするも国  
 14 96 01 わさなめれば さなめれば国 わさなんめれば  
 言 わさなれば麦阿  
 14 96 01 院の内の 院の中の言麦阿

14 96 01 上下の人々 上下の人 保 殿上の人ノ 国穂  
 14 96 01 いと ナシ国穂  
 14 96 02 久しくなり給へる としへたまひぬる保 とし  
 へたまえる国穂  
 14 96 02 御方にのみ方にのみ国穂 御方に言 御方に  
 のみ麦  
 14 96 02 ことはりて ことはり国  
 14 96 02 はかない はかなき西保国言穂  
 14 96 02 ことにも 事にも 麦 事も阿  
 14 96 02 この方さまを この御方さまを西保国言阿  
 穂 御かたさまを麦  
 14 96 02 よからす 心よからす西 よからすのみ国  
 穂  
 14 96 03 とりなし とりなるノ上カラリヲ書クカ「  
 言  
 14 96 03 御せうと 御せうそ言  
 14 96 03 君たちも きみたち保 君たちは麦阿  
 14 96 03 あしうやは あしうや西 あしくやは国麦阿  
 穂  
 14 96 03 きこえをきけると きこへけるなど西 聞えを  
 きけると 麦  
 14 96 04 申給 申たまふ「へはヲ削ツテフヲ書クカ」  
 国  
 14 96 04 きくくるしききくにくき保くるしき国  
 穂  
 14 96 04 かゝらて かたらひて国  
 14 96 05 世を ナシ西  
 14 96 05 すくすすすす麦阿

14 96 05 おほかめりかし ありし国 おほかりけんかし  
 言 有かし穂  
 14 96 05 さいはひなくて さいはいならて西国穂 さい  
 はひなくぞく力言 さいはいなつて麦阿  
 14 96 05 宮つかへのすちは 宮つかへのすち西 宮つか  
 へするは言  
 14 96 06 わさにさ言  
 14 96 06 なりけりと なめりと国穂  
 14 96 06 おほつへは おほむつへは西 おほして国麦  
 阿穂  
 14 96 06 なけき すぐし国穂  
 14 96 06 きこえし きこえ給し西保国穂 きこえたまつ  
 し保  
 14 96 06 人々の人々言  
 14 96 06 なるのほりつゝ なりたまひつゝ 国なりつゝ  
 穂  
 14 96 07 せても さるも言  
 14 96 07 おはせましにおはしませしに麦阿 をはせむ  
 に穂  
 14 96 07 かたわならぬそ かたはならぬは麦阿  
 14 96 07 あまた ナシ保  
 14 96 07 その中に せてもそのなかに西 そのなかに  
 保その国  
 14 96 07 源侍従とて 源しつと西  
 14 96 08 いとわかうひわつなりと ナシ西  
 14 96 08 いと ナシ国穂  
 14 96 08 わかつわかし保 わかく国穂  
 14 96 08 ひわつなりと きひわなりと保国麦阿穂 なり  
 と なりしと穂「ひはつなりしと言



14 96 08 みしはきこえしは西思ひしは保

14 96 08 宰相中将宰相の中将国

14 96 08 にほふやほふや国

14 96 08 かほるやとかほるやなと国穂かほると

言かほるやとて麦阿

14 96 08 きくにくくいときくにくく西保

14 96 09 めてさはかるなるめてさはくは保めてさは

かる中に国穂もてさはかるなる言めてさはかる也麦阿

14 96 09 けにナシ国穂

14 96 09 ひとナシ西

14 96 09 人からひとからも保麦阿

14 96 09 おもりにナシ保国穂

14 96 09 心にくきくくろにきく保

14 96 09 やんことなきやむことなき西

14 96 09 みこたち御子たち言麦阿

14 96 10 御むすめを御むすめ国穂むすめを麦

阿

14 96 10 心さし心はえ国穂

14 96 10 のたまふなるの給ふる国

14 96 10 などもを西を国穂も言

14 96 10 きくいれすなくきくいれてなと西きくいれ

す国穂

14 96 10 あるにきくに保

14 96 10 つけてつけても麦阿

14 96 11 そのかみはそのかみ穂

14 96 11 わかうわかくて国穂

14 96 11 ねひまさりぬへかめりねひまさりぬかんめり言

14 96 12 なんと大八推読「大国穂

14 96 12 いひおはさうすいひおほす大国穂いふ

西おはさうす阿

14 96 12 少将なりしもまた少将といひしも大国穂また

たナシ穂又少将なりしも西保

14 96 12 三位中将とか二位の中将とか西三位中将と

国穂三位の中将とか言

14 96 12 おほえ心おほく大おおほえミセケチ本文

同筆力「言

14 96 12 ありある麦阿ナシ穂

14 96 12 かたちさへみのさえなと大かたちさまなと

西みのさえも保さへなと国穂かたち麦

阿

14 96 13 あらまほしかりきやあらまほしや大穂あら

まほしかりけり西あらまほしくや国

14 96 13 ならまほしかりきやあらまほしや大穂あら

まほしかりけり西あらまほしくや国

14 96 13 ならまほしかりきやあらまほしや大穂あら

まほしかりけり西あらまほしくや国

14 96 13 ならまほしかりきやあらまほしや大穂あら

14 96 14 御有さま御みやつかへ保御有様麦

14 96 14 いとおしうそいとをかくそ西いとをし

けにそ保いとをしそ国いとをしそ言

穂

14 96 14 みえしありし国

14 96 14 猶猶麦

14 96 14 思そめし思ひそめてし国

14 97 01 たえすたらす阿

14 97 01 思ひつゝおほえて保思て言

14 97 01 左大臣の御むすめを左の大殿むすめ国

穂右大臣のむすめを言

14 97 01 えたれとえたれとん西

14 97 01 心も心を西

14 97 01 とめすととめす大西国穂

14 97 02 てならひにもてならひにし国

14 97 02 ことくさにも志破損「大

14 97 02 するはしつゝ西

14 97 02 おもふやうのあるにか思にか大国穂思やつ

あるにか西言

14 97 03 有けんあけん破損「大あらん保

14 97 03 宮す所やすけなき宮す所はわつらはしき

西

14 97 03 よのナシ大

14 97 03 むつかしきにくるしきに保穂くるしけさに

国

14 97 03 さとかちにさとかち(かち)に大

14 97 03 給ひにけりたまひにたり大西保穂まさりに

たり国給てける言

14 97 04 かの君かの君は穂

14 97 04 やうにはあらぬやうにえあらぬ大やうにも

あらぬ国穂やうはあらぬ阿

14 97 04 御有さまを御ありさま大国穂御有様を

麦物ありさまを阿

14 97 04 ちおしとくちをしくなけかしと保

14 97 04 おほすをもほす保

14 97 04 うちの君はかの君は国内の君麦阿

14 97 05 いまめかしういまめかしう国麦阿

14 97 05 心やすけに心やすく西  
14 97 05 もてなしてもてなかくして西もてなし

穂

14 97 05 ゆへ人阿

14 97 06 さぶらひ給さぶらひ給に大國穂

14 97 06 左大臣そのころ左大臣大西保國穂その比大

臣麦阿

14 97 06 給てたまひにければ保

14 97 06 右は右国ナシ穂

14 97 06 左に左にわたり西國穂ひたりにわたりたま

ひ保

14 97 06 とう大納言大納言保頭大納言麦阿

14 97 06 左大将右大将國穂

14 97 06 給へるたる大國穂給ひつ西

14 97 07 給給へき保

14 97 07 つぎノ人々つぎノ大ノき八推読大

西保國穂

14 97 07 なりあかりてなりのほりて保あかりて

穂

14 97 07 このかほる中將はこのかほる中將保此ほか

中將は麦阿このかほる穂

14 97 07 中納言に中納言西國穂

14 97 07 三位の君は二ゐのきみは二ニミエルノ八破

損ニヨルカ大三位のきみは西三位中將は

14 97 08 悦したまへるよろこひしたる西よろこひし

給えるに国よろこひ申給へる申力言よろ

こひし給へり麦阿

14 97 08 人々人ノおもひめくらすに大西人ノ

思ひやるに保人ノ思ひめくらすに国  
穂

14 97 08 このふたつみつの大國穂ふたつみつ

の二三の国二みつこの穂七の三人西この

ふたつみつめのニミセケチアルカ保

14 97 08 御そナシ西

14 97 08 外にほかの大國穂

14 97 08 人なきよき人すくなき保人ノなき国

穂

14 97 08 ころをひころ大

14 97 08 ありけるなりにける大國穂

14 97 08 中納言の中納言大西國穂

14 97 09 御悦によろこひに國穂

14 97 09 さきのないしのかんの君にまいり給へりおま

への庭にてはいしたてまつり給かんの君前

の内侍督の君にまいり給へり御前の庭にて

はひし奉り給督の君麦

14 97 09 さきのないしのかんの君にさきのないし

かむの殿に大西さきのないしのかみの御も

とに保國穂さきの前の穂ないしのかみ内

侍守國さきの内侍督の君に言麦前の内侍

督君に阿

14 97 09 おまへのこせんの西御まへの国御前の言

麦阿御まへに穂

14 97 09 たてまつり給たてまつり言

14 97 10 たいめんたいめ大麥阿

14 97 10 し給てしたまつて保

14 97 10 かくいといと磨滅大いとかく西かく  
いと穂

14 97 10 草ふかくふかく穂

14 97 10 なりゆくなる西

14 97 10 よき給はぬ御心はえにもよき給はぬ御心は

へに大よき給はぬなごころはえにも国よき

給はぬ御心はへにても言

14 97 11 御こと思出られてななんと御こと思いてら

れてなんと大事のみなんおもひてられは

へると西

14 97 11 御こゑ御けはひ西こゑは穂

14 97 11 あてにあいきやうつきいとわかやかにあ

行つき大あてにあいきやうつき保いと

なやかにあいきやうつきて國穂つきてつき

穂

14 97 12 きかまほしうキがまほしく大西國穂聞

まほしう麦聞えまほしう阿

14 97 12 いまめきたりあいまめきたり行つヲ削ッテ

まめヲ書クカ西いまめいたり保言

14 97 12 ふりかたくもふりかたくも大保麦阿ふりが

たく国

14 97 13 院のうへは冷泉院のつへは保院のうへ麦

阿

14 97 13 恨給いとみたまふ大保ナシ西國穂

14 97 13 御心心大むかしの御心西いとゆかしき御

心國穂御心も麦阿

14 97 13 たえぬそかしたえぬそ(そ)かし麦

14 97 13 給てんとたまつてんと大保

14 97 13 思ナシ國穂  
14 97 13 悦よろ大  
14 97 13 などはなと大保國穂

14 97 13 心には心ことには保  
 14 97 14 思給へねとも おもひたまはねと大 おほいた  
 らねと西 思たまえねと保 思給へられねと国  
 穂 思給へをもひたまへ穂 思ひ給へねとも  
 言 思はねとも麦阿  
 14 97 14 御らむせられにこそ 御らんせられにこそ  
 言  
 14 97 14 まいり ナシ穂  
 14 97 14 よぎぬなとよかぬなと大穂 よりぬると  
 ノ上カラルヲ書クカ[国  
 14 97 14 の給はするはの給はすは言  
 14 98 01 をろかなるをろそかなるへき保  
 14 98 01 つみに つみ大國穂 つみを保  
 14 98 01 うちかへさせ かうかへさせ大 なり西とか  
 めさせ保國穂 うちかはさせ麦阿  
 14 98 01 給にやと たまふそやと大 侍にやと西 給に  
 やなと國穂 給へるにやと言  
 14 98 01 さたすきにたる さたすきたる大西言穂 はた  
 さたすきにたる麦阿  
 14 98 01 身のうれへ みのつゑ西 みのうれへ保 御  
 身のうれへ言  
 14 98 02 きこゆへきま すへき大 きこゆるへきミ  
 セケチ本文同筆力[言  
 14 98 02 あらすとあらす西  
 14 98 02 侍れとはへれとれ八推読[大 たまへれと  
 保  
 14 98 02 立より たちよらせ西國穂  
 14 98 02 事は 事も保  
 14 98 03 たいめん たいめ大麦阿

14 98 03 なくて はたなくて大 なくて西國麦阿  
 穂  
 14 98 03 さすかに さする(か)に保  
 14 98 03 くだノしきくちをしき國穂  
 14 98 03 院にさふらはるゝか 院にさふらはるゝに西  
 14 98 04 いたう いたく西國穂  
 14 98 04 世の中を 世の中國穂  
 14 98 04 思みたれ 思ひみたれて西麦阿  
 14 98 04 なか空なる やつになかなる やつに大 な  
 かそらなる やつにて西 ナシ保 なかそらに國  
 穂  
 14 98 04 たよふを たよふやつにはへるは保 たよ  
 よふやつに國穂 し給を し力[言  
 14 98 05 又 ナシ保  
 14 98 05 さいの宮の 后宮の國麦阿穂 きさきの宮の  
 穂  
 14 98 05 御方にも 御かたに大  
 14 98 05 さりとも さりともさりん大 さりと國  
 14 98 05 ゆるされなんと ゆるしてんと大西保國穂 ゆ  
 るいてんと保  
 14 98 05 思ひ給へすすすにおもふ給へすすすに大 思  
 ひ給へすすすに西 思たまへすすすに保 思ひ  
 給すすすに國麦阿 思ひ給へすすすも言 思給  
 すすすに麦阿 思すすすに穂  
 14 98 06 いつかたにも いつかたも國穂  
 14 98 06 なめけになまけに阿  
 14 98 06 心ゆかぬ ゆかぬ大保國穂 ゆるさぬ さ力[  
 言 御心ゆかぬ麦阿

14 98 06 おほされたなれはおほされたなれはなれ八  
 推読[大 おほされたれは西保麦阿 おほした  
 なれは言  
 14 98 06 かたはらいたくて かたはらいたく保 かたは  
 らいたつて麦阿  
 14 98 07 宮たちは 宮に(たち)は西  
 14 98 07 さてさふらひ給この 「破損[大  
 14 98 07 さてさて西 ナシ國穂  
 14 98 07 さふらひ給候給へ西 さふらひたまひ保  
 14 98 07 ましらひ ひま(しら)ひ穂  
 14 98 07 身つから 宮つかへ西  
 14 98 07 かくて かくて大 かくてや國 ナシ穂  
 14 98 07 心やすく 心やすくて大西  
 14 98 08 たに ナシ國 て穂  
 14 98 08 なかめ ナシ大  
 14 98 08 すくい給へ すくしたまへ大西國穂 すこひ給  
 へ言麦阿  
 14 98 08 まかてさせたる まかてさせてはへる西  
 14 98 08 つけても つけて西 つけても又國  
 14 98 09 おほし ナシ西 おもほし穂  
 14 98 09 の給はすなるの たまはすめり大 のたまふ  
 西言の給はすめる國穂の給はするなる麦  
 阿  
 14 98 09 ついてあらは ついてあらは麦  
 14 98 09 そうし給へ 申給へ西 そうし給へと阿  
 14 98 10 とさまかつさまにとさ(さ)まかつさまに  
 大

14 98 10 たのもしくたのもしう大保国麦阿  
 14 98 10 思ひ給へて思たまへて大保 思給て西麦  
 阿 思ひたまふへく穂  
 14 98 10 いたしたて いたしたて 保 いたうしうた  
 て阿  
 14 98 11 心やすく心やすう大 たのもしく穂  
 14 98 11 うちとけたのみうちたのみ西 たのみ  
 保  
 14 98 11 きこえしかと聞しかと言  
 14 98 11 いまは いま西国言麦阿穂  
 14 98 11 ことあやまりに ことあやまりにいまは  
 大 ことあやまりには西 事あやまりには  
 保 あやまりには国穂  
 14 98 11 おさなう おさな 「磨滅」天 おさなく西保国  
 穂  
 14 98 12 心を 心を西 心麦阿  
 14 98 12 もとかしくもとかし かハ推読、かトしノ問  
 八虫損ニテ文字ガアツタカ不明「天」もとかし  
 う麦阿  
 14 98 12 なんと なんと国穂  
 14 98 12 うちない給 うちなけ給西保 うちなき給国  
 穂  
 14 98 12 けしき也 けしきになん大  
 14 98 12 かうまで かくまで西保国穂  
 14 98 13 おほすましき おほす ましき麦  
 14 98 13 ことに ナシ国 に穂  
 14 98 13 御ましらひの ましらひの 大 国穂 御ましらひ  
 も西  
 14 98 14 ことゝものゝ 大西保国穂

14 98 14 侍にけるを 侍りにける 国穂 侍けるを  
 言  
 14 98 14 くらいを くらいは西 御くらゐ 保 御くらい  
 を 国穂  
 14 98 14 さりて さり保  
 14 98 14 しつかに のとかに 大 国穂  
 14 98 14 何事も なに事につけても 保  
 14 98 14 けさやかならぬ けさやかならぬ にノ上カラ  
 なヲ書ク「大  
 14 99 01 御ありさまと 御ありさまならず 大 御ありさ  
 まに言 御有様と麦  
 14 99 01 うちとけ うちとまり阿  
 14 99 01 給へる たる 国穂  
 14 99 02 うちノ はは 大 国 町(うち)ノ はは 麦 ナシ  
 穂  
 14 99 02 いかゝ いかてか 保  
 14 99 02 いとましくも いとましく 大西保穂 いまはし  
 く 国  
 14 99 02 おほすことも ならむ おほすこと ならん  
 大西 おほす事 ならむ 覧 保 麦 阿 おほさゝらむ  
 国穂  
 14 99 02 人は 人(か)ひとは 保  
 14 99 02 なのとかと 15 00 03 心にくゝもて「大  
 成」コノ部分校異ヲ採ルガ、一丁分後補ノ補  
 写力言  
 14 99 02 とかみぬ とかみぬ 大 とかとおもふ  
 西 とかみぬ 言ハみぬ力「保言  
 14 99 02 ことも ことなけれと 大 事をも 保 事なれと  
 国穂

14 99 03 わか御身 我身 西言  
 14 99 03 うらめしく うらめしう 国  
 14 99 03 なん なんと 保 ナシ言  
 14 99 03 あいなき あやなき 大 保 あちなき 西  
 14 99 03 心 御心 西 こゝろを 保 国言 麦 阿 穂  
 14 99 03 うこかひ うこかし 大西 国穂 うこかし 大 西  
 たり 保  
 14 99 03 給こと たまふ 保 国穂  
 14 99 03 女御后の 女の大 国穂 女御き さきも 西 御な  
 の 保 女御きさいの言  
 14 99 04 御くせ こと 大 西 保 国穂 御すく せす力「  
 言  
 14 99 04 さばかりの 15 00 03 心にくゝもて ナシ 補  
 入 同筆力言  
 14 99 04 さばかりの さは りぬり 八推読 天 さはか  
 り 阿  
 14 99 04 まきれも まきれに 西  
 14 99 04 あらし物とて やは あらしもの おとては  
 西 あらしとて やは 保 国穂 あらし物とて や 麦  
 阿  
 14 99 04 おほしたち けん おほしたち けん「イ」ト  
 アルカ「西  
 14 99 05 もて なして おほし 大 国穂 (おほし  
 し おほし 国穂) をも して 保  
 14 99 05 すくすへき すくすへき 麦 阿  
 14 99 05 ことに ことには 大  
 14 99 05 侍也 は へなり 大 は へり 西 麦 阿  
 14 99 05 おのこの をのこの 大 をのこの 国穂  
 14 99 05 かたにて ぞうすへき かたにし もあて ぞうす

へき大國穂「かたにしもかたちゑ去ゑ八し力」穂「あてもて國穂」かたにもてそつすへき保かたにしもてそつすへき國

14 99 06 事にものことにて西ナシ國に事のヲ削ツテにもヲ書ク力」穂

14 99 06 侍らぬはへらす大ナシ國

14 99 06 事になんとなんと大事のすちになんと保國穂

14 99 06 すぐ／＼しうすく／＼しく西保

14 99 06 たいめんたいめ大麥阿

14 99 06 ついてに ついての西

14 99 07 たてまつりナシ大國穂きこえ保

14 99 07 かひなくあわのかひなくあは 大かいもなくあらの西かひなくあわさぬさノ上カラわヲ書ク力」保ほひなの國穂かひなくもある麥阿

14 99 07 御ことはりやと御とわりやと大御ことわりやと西

14 99 08 うちわらひて わつらひて穂

14 99 08 おはするおほする國

14 99 08 おやにて 御おやにて大保國穂

14 99 08 はか／＼しかりはか／＼しかたり大さかしかり保國穂

14 99 08 給へるたまふ大國穂たまふつる保

14 99 08 ほとよりは ほとより穂

14 99 08 わかやかに わかく保

14 99 09 おほといたるおほときたる大西國穂

14 99 09 宮す所も みやすんところも保

14 99 09 かやうにそいとかうやうにそ大かやうにて

そ麥阿

14 99 09 うちのひめ君のうちのひひ君の西うちのひめきも國穂二月の比姫君の麥阿

14 99 10 かうさまかうやう保

14 99 10 けはひ 御けはひ西

14 99 10 かしと かし 大

14 99 10 思ひ給へり 思ひたまへり西穂

14 99 10 内侍のかみもないしのかむのきみも保内侍守も國麥阿」大成」校異ヲ採ルガコノ部分

補写」

14 99 11 このころこのころは西國穂

14 99 11 すみすみなし大西保國穂

14 99 11 おかしうをかしく西保をかしくて國穂

14 99 12 のとやかにまきるゝ事なきまきるゝことなくのとかなる大國穂

14 99 12 御ありさまとの 御ありさま」破損」ま八推読」大御ありさまとの西 御有さまに國穂 御有様との麥

14 99 12 すのうち みのうち大保國麥阿穂

14 99 12 心 ナシ西

14 99 12 はつかしうはつかしく保國

14 99 12 おほゆれば おほゆればいノ上カラはヲ書ク」穂

14 99 13 心つかひせられて 心 せられて破損」大ナシ穂

14 99 13 もてしつめゝやすきを もてしつめゝてたきお大もてなししつめゝやすき西めやすき御

有さまいとゝもてしつめ給へるを國穂いと

ナシ穂」

14 99 13 大うへ う磨滅」天 御うゑ西

14 99 13 ちかうも ちかうても大西國穂ちかくても國穂

14 99 13 みましかはみましかは大

14 99 14 うちおほしけり おほしけり國穂

14 99 14 大臣殿は右大臣殿は大 大臣殿は西 右のをほいとのは保 右の大殿は國穂右の 右穂

14 99 14 とのゝナシ大

14 99 14 なりけりな け磨滅」天

14 99 14 たひきやうの 大卿に大西保 内大臣の大きやうに國 ゆつつけのたいきやうに穂

14 99 14 系かのゑんかの保國穂

15 00 01 きんたち みこたち大保國穂 君たち麥阿

阿

15 00 01 など ナシ大國穂

15 00 01 あまたいとあまた保穂

15 00 01 給たまへり大國穂たまひけり保

15 00 01 兵部卿の宮 兵部卿宮國麥阿穂

15 00 01 左の大臣とのゝ 左大殿の 大八臣ノ上カラ殿ヲ書ク」大保國麥阿穂」左の保穂」左のおとゝ西

15 00 01 のりゆみのかへりたちすまるのあるしヤノ」りゆすまひのあるし大のりゆすまるの

かへりあるし國穂

15 00 01 かへりたちへたう西

15 00 02 などは西などに保

15 00 02 おはしまししをおはしますを麥阿

15 00 02 ひかりとひかりにとおもひて大ひかりにと  
 西保ひかりにもとおほして国穂ひかりにも  
 と光にと穂」  
 15 00 02 さうし」大成』校異ヲ採ルガコノ部分補写」  
 言  
 15 00 03 給けれとたまけれと大給へれと国たまへ  
 と穂  
 15 00 03 心にくゝ心にくゝと保  
 15 00 03 もてかしつきかしつき国穂かしつき」大成』  
 ノ校異八一丁分ノ補写ヲ本文ト見ナシタコト  
 ニヨル誤リ」言  
 15 00 03 ひめ君たちをひめきみたち大穂ひめ君国  
 15 00 03 心さしことに：15 01 06 つきつきしく」青表  
 紙本ニヨル補写」大  
 15 00 04 いかてといかてかと国  
 15 00 04 へかめれとへかめるを保へかめれと  
 言  
 15 00 04 いかなるにかあらんいかなるに国いかにか  
 あらん言いかなりけるにか穂  
 15 00 04 御心も御心西国穂  
 15 00 04 とめとゝめ西保国言とめさせ穂  
 15 00 05 けるけり国  
 15 00 05 いとゝいと西国穂  
 15 00 05 あらまほしうあらまほしく西国穂  
 15 00 05 ねひとゝのひねひとゝのひ給穂  
 15 00 05 何事もくれたるかたなくナシ麦阿  
 15 00 05 何事もな事に付けても西なに事にも  
 保

15 00 05 をくれたるかたなくをくれ給事なく西  
 15 00 06 かたなくかたなう保  
 15 00 06 給を給西給しを言  
 15 00 06 おとゝもをとゝ穂  
 15 00 06 給けりたまへり西たまふけり保  
 15 00 06 となりのかくとなりのかう保となり  
 穂  
 15 00 06 のゝしりてのゝしり西保国穂  
 15 00 07 車のをと車のを言  
 15 00 07 さきをふさきの西国穂  
 15 00 07 こゑノゝもこゑノゝ西こゑノゝ去ノゝ八  
 後補力」言こゑノゝに麦こゑも穂  
 15 00 07 思いてられておほしいてられて国穂  
 15 00 08 物あはれに物哀は麦  
 15 00 08 なかめなかめられ西  
 15 00 08 給故宮つせナシ保  
 15 00 08 故宮こ君麦阿  
 15 00 08 給てたまふて保  
 15 00 08 程もなくほとなく西言穂  
 15 00 08 かよひ給しかよひ給うし保  
 15 00 08 ほと事西保言麦阿ナシ国穂  
 15 00 08 いとナシ西穂  
 15 00 09 あはつけいあはつけき西保国穂  
 15 00 09 よ人は世の人も言  
 15 00 09 もとくなりしかともときけれと西もとくめ  
 りしかと保もとくめりしを国穂  
 15 00 09 かくておもひもきらすかくて西思ひもき  
 えすかくて保麦阿穂思ひもきえすかくては  
 国おもひきえすかくてえハカ言思もき

え(らい)すかくて麦阿  
 15 00 09 給も給西国穂  
 15 00 09 さすかなるかたにさるかたにて西国穂さる  
 かたに言ハかた力」保言さすかさるかたに  
 麦阿  
 15 00 10 よるへきよるへからん言  
 15 00 10 なとと国  
 15 00 10 左の大殿の左のおとゝの西左のおほいと  
 保左大殿ノ国麦阿  
 15 00 11 宰相中将宰相の中將西宰相中将の麦  
 阿  
 15 00 11 たいきやうの大きやの国きやうの麦阿き  
 や(大をイ)の阿  
 15 00 11 又の日またの日の穂  
 15 00 11 タつけてゆふつけてそ保  
 15 00 11 こゝにこゝへは保そこには国穂  
 15 00 11 給へりたまへる保国穂  
 15 00 11 おはすとおはすると言  
 15 00 12 おもふにナシ穂  
 15 00 12 いとゝいよゝ西いと国穂  
 15 00 12 心けそつ心けさつ西保国言阿穂心けさつは  
 』ヲ削ッテけさつヲ書クカ」西心さつ  
 麦  
 15 00 12 そひてせられて西  
 15 00 13 なにともなにとん西  
 15 00 13 おほえ待らすおほえす西思ひはへらす保  
 穂思はず国  
 15 00 13 わたくしのわたくしの日阿  
 15 00 13 なけきなさけきミセケチ本文同筆力言

15 00 13 思給へおもひ給へはへる西思ひ給へ言思  
 給麦  
 15 00 14 浪なみたを言穂  
 15 00 14 ことさらめいたりことさらめきたり西国麦  
 阿穂  
 15 00 14 廿七八の廿三の西八三ノ後ノ日ヲ削ルカ  
 西保 廿八九の国穂 廿七八言  
 15 00 14 ほとのと西国穂  
 15 00 14 いとナシ国穂今言  
 15 01 01 にほひはなやかなるトニほひおほくはな  
 やかなる保トニほひやかなる国穂  
 15 01 01 かたちかたく西  
 15 01 01 給へり給へりかんの君西保国穂給へり給  
 える国穂  
 15 01 01 君たちぎんたち西  
 15 01 02 おこりてほこりて西  
 15 01 02 なにともなにとん西  
 15 01 02 すくしすこし西麦阿すこし西すくし  
 保過し言  
 15 01 02 いますからうや故とのいまからや殿西い  
 ますからふや(ト)(ト)こを(ト)(ト)ニミセケチカ

ニニエル点八傍記ノ範囲ヲ示スタメカ保い  
 ますかくふやことの国穂 いますらふや(ト)  
 殿の麦 いますからふや(ト)殿の阿  
 15 01 03 こくなる人々もかゝるすさひ事にそ心はみた  
 らましナシ麦阿  
 15 01 03 人々も人ノ西人ともノ国穂  
 15 01 03 すさひ事にそすまひことにそ西国穂すさひ  
 ことにそさハマカ言  
 15 01 03 心は心は西こゝるを保  
 15 01 03 見たらましとみえましと西見たらましとて  
 保国穂  
 15 01 03 うちなき給うちなきたまふ西打なひ給麦  
 阿  
 15 01 04 右兵衛督左兵衛のかみ西右兵衛のかみ  
 保右兵衛督の麦阿  
 15 01 04 右大弁にて左大弁にて西左中弁などにて  
 保左大弁などに国左大弁などにて穂  
 15 01 04 みなナシ国  
 15 01 04 非参議ひさつみ西四位上国穂四めのうへ  
 穂  
 15 01 04 思へりをもたまへり保おほしたり国

穂  
 15 01 04 侍従と侍従を国  
 15 01 04 きこゆめりしそきこゆめりしをそ西きこゆ  
 めりしこそ国穂聞ゆめりし言麦阿  
 15 01 05 このころその比言麦阿  
 15 01 05 頭の中將ととふの中將と西頭中將と保国  
 言麦阿穂  
 15 01 05 きこゆめるきこゆめりし保きこゆ国穂聞  
 ゆるめる麦  
 15 01 05 としよはひとし西  
 15 01 05 ほととはほとは言  
 15 01 05 かたわならねとかたなわならねとリノ上カ  
 ラわヲ書クカ、先出なヲ削ルカ西みくるし  
 からねと国穂  
 15 01 05 をくるとおくると国をくると麦阿を  
 くる事穂  
 15 01 06 なけき給へり思たまふへし保おもひなけき  
 給へり国穂給へり給けり穂  
 15 01 06 宰相はとかくつきしく宰相はとかくつ  
 きノしつとそ西ナシ保国穂宰相はならと  
 かくつきノしく麦